



令和7年度

# 授業計画 (シラバス)

東北歯科技工専門学校



令和7年4月

## 歯科技工士の役割と本校の概要、教育理念、教育方針

### 歯科技工とは

歯科技工業務について歯科技工士法(昭和30年法律第168号)では「特定人に対する歯科医療の用に供する補綴物、充填物又は矯正装置を作成し、修理し、または加工することをいう」と定められており、その任にあたるのは歯科技工士であります。また、禁止行為として「その業務をおこなうに当たっては、印象採得、咬合採得、試適、装置その他歯科医師がおこなうのでなければ衛生上危害を生じるおそれのある行為をしてはならない」と規定されています。

### 歯科技工士の役割

歯科技工士とは、基本的な枠組みに基づき歯科医師の指示のもと歯科医療に必要な義歯、歯冠修復物および歯科矯正装置等を作成する技術者であります。

近年、歯科医療において、その技術、材料の進歩には著しいものがあり、その一翼を担う歯科技工士は、人の役に立つとともに素敵な笑顔をつくる重要な役割になっています。

### 本校の概要

本校は、歯科技工士法に基づく学校として、優秀な歯科技工士となるために必要な専門的知識と特殊技能を授けることを目的とし、昭和40年に、社団法人五常会によって東北歯科技工専門学校として設立され、全国でも屈指の伝統校です。

歯科医療のなかの歯科技工という重要な分野を担う、優れた歯科技工士を社会へ送り出すために、恵まれた設備環境のなかで、関係者全員が全力をあげて取り組んでおります。

教育の厳しさの中にも、家族的であたたかな雰囲気のある学校づくりを目指しております。

### 教育理念

東北歯科技工専門学校の教育理念は、歯科技工士として必要な専門的知識と技術を教授するとともに、幅広い教養と豊かな人間性を養い、社会に貢献し得る人材を育成する。

## 教育方針

### 「HEARTINESS」 （ 誠実 誠意 熱心 ）

本校では、学生一人一人の個性と能力をあますところなく伸ばすという教育方針から、学生の人間性を大切にしながら育てていくことに重点をおいて、次のようなことを掲げております。

技術とは、あることが上手にできれば良いというものではありません。人の口の中に関わる歯科技工という技術は、患者の痛みや気持ちで作ることが大切です。知らない人の歯だけれど、いつでも自分のものを作るのと同じ気持ちで心を込めて作る。そんな誠実さが、白衣に象徴される専門技術にプラスされた時にはじめて本当の技術が育ち、そこに感動が生まれます。

#### ◎ 人間性の尊重

##### 「五常の精神（五つの人の守るべき道）」

仁－思いやりの心を持つこと

義－利害を捨てて、他人や公共のために尽くすこと

礼－敬意を持って人と接すること

智－物事をよく知り、善悪をはっきりと理解すること

信－他人を欺かないこと

#### ◎ 自主性の尊重

自分の隠れた才能を引き出すために積極的に勉学にとりくむとともにまわりの人とコミュニケーションをはかりながら責任ある行動をすること。

#### ◎ 医療人としての自覚

歯科医療人の一員としてやるべきことを学びとる努力を惜しまないこと。

これらのことを教育方針としている。

## 令和7年度 教員名簿

### 【非常勤教員】

氏名	担当教科	勤務先等	役職
重光 竜二	顎口腔機能学	東北大学歯学部	助教
天雲 太一	顎口腔機能学	東北大学歯学部	講師
大島 絵恋	矯正歯科技工学	東北大学歯学部	医員

### 【常勤教員】

氏名	担当教科	役職
渡邊 奈美	歯冠修復・実習全般	東北歯科技工専門学校 理事長・校長
		松陵歯科医院 医院長
小松 勝	有床義歯技工学・小児歯科技工学・矯正歯科技工学	副校長
八巻 賢一	有床義歯技工学・顎口腔機能学・臨床技工	教務部長
神永 聡	歯冠修復技工学・口腔・顎顔面解剖学・情報リテラシー 歯科理工学(材料学・金属・歯科鑄造)	教務主任
	造形美術概論・コミュニケーション学・臨床技工	広報主任
後藤 真宏	歯冠修復技工学・関係法規・コミュニケーション学 小児歯科技工学・矯正歯科技工学	
渋谷 洋子	臨床技工	

東北歯科技工専門学校  
組織図

(理事長)  
渡邊 奈美

(校長)  
渡邊 奈美

(副校長)  
小松 勝

(事務部)  
石橋 佳津子

(歯科技工研究部)  
主任 渋谷 洋子

(教務部)  
部長 八巻 賢一  
主任 神永 聡  
小松 勝  
後藤 真宏

(就職支援相談室)  
八巻 賢一

(入試部)  
部長 後藤 真宏

(広報事業部)  
部長 八巻 賢一  
主任 後藤 真宏

単位数・時間数一覧

分野	教育内容	教科	内容	講義 30時間=1単位		実習 45時間=1単位		分野の単位計	備考				
				時間数	単位	総時間	総単位						
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活	外国語	1年(講義)	30	1.0	30	1.0	5.0	基礎英語(0.5) 歯科英語(0.5)				
		造形美術概論	1年(講義)	30	1.0	30	1.0						
		コミュニケーション学	1年(講義)	30	1.0	30	2.0						
			2年(講義)	30	1.0	30							
		情報リテラシー	1年(講義)	30	1.0	30	1.0						
専門基礎分野	歯科医工と 歯科医療	歯科理工士関係法規	1年(講義)	30	1.0	30	1.0	3.0					
			歯科工学概論	1年(講義)	30	1.0	60			2.0			
				2年(講義)	30	1.0	60			2.0			
	歯科材料・ 加工技術	歯科理工学(材料学)	1年(講義)	60	2.0	120	7.0	7.0					
			歯科理工学(金属)	1年(講義)	60					2.0			
			歯科理工学(歯科鋳造)	1年(講義)	30					1.0			
			歯科理工学実習	1年(実習)	90					2.0			
	構造・口腔 機能の	歯の解剖学(口腔解剖)	1年(講義)	30	1.0	105	5.0	7.0					
			1年(講義)	30	1.0								
		歯の解剖学(歯牙解剖)	1年(実習)	90	2.0								
			2年(実習)	45	1.0								
		顎口腔機能学	2年(講義)	30	1.0					75	2.0		
			2年(実習)	45	1.0								
	専門分野	有床義歯 歯技工学	全部床義歯技工学	1年(講義)	60	2.0	465	12.0	12.0				
				1年(実習)	90	2.0							
2年(講義)				15	0.5								
2年(実習)			90	2.0									
部分床義歯技工学			1年(講義)	60	2.0								
			1年(実習)	90	2.0								
		2年(講義)	15	0.5									
歯冠修復 技工学		歯冠修復技工学	1年(講義)	150	5.0	495	13.0	13.0					
			1年(実習)	135	3.0								
			2年(講義)	30	1.0								
			2年(実習)	180	4.0								
小児 歯科		小児歯科工学	1年(講義)	30	1.0	75	2.0	2.0					
			1年(実習)	45	1.0								
矯正 歯科		矯正歯科工学	2年(講義)	30	1.0	75	2.0	2.0					
			2年(実習)	45	1.0								
歯科 実習工	歯科技工実習	1年(実習)	45	1.0	495	11.0	11.0						
		2年(実習)	450	10.0									
合計				2355	62.0	2355	62.0	62.0					

(現状 2264)

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

学科名	歯科技工士学科		講義 30時間=1単位 実習 45時間=1単位									
	分野	教育内容	教科	内容	時間数	単位	総時間	総単位	分野の単位計	実務経験のある教員等の授業科目単位		
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	外国語	1年(講義)	30	1.0	30	1.0	5.0		1.0		
			造形美術概論	1年(講義)	30	1.0	30				1.0	
			コミュニケーション学	1年(講義)	30	1.0	30				2.0	
			2年(講義)	30	1.0	30						
			情報リテラシー	1年(講義)	30	1.0	30				1.0	
専門基礎分野	歯科技工と 歯科医療	技工士関係法規	1年(講義)	30	1.0	30	1.0	3.0		1.0		
			歯科技工学概論	1年(講義)	30	1.0	60				2.0	
			2年(講義)	30	1.0		1.0					
	歯科材料、 加工技術	歯科理工学(材料学)	1年(講義)	60	2.0	120	7.0	7.0			2.0	
			歯科理工学(金属)	1年(講義)	60							2.0
			歯科理工学(歯科鋳造)	1年(講義)	30							1.0
			歯科理工学実習	1年(実習)	90							2.0
			歯の解剖学(口腔解剖)	1年(講義)	30							1.0
	歯の解剖学(歯牙解剖)	1年(講義)	30	1.0								
	歯の解剖学(歯型彫刻)	1年(実習)	90	2.0								
	2年(実習)	45	1.0		1.0							
	顎口腔機能学	2年(講義)	30	1.0	75	2.0			1.0			
	2年(実習)	45	1.0							1.0		
	専門分野	有床義歯 技工学	全部床義歯技工学	1年(講義)	60	2.0	465	12.0	12.0			2.0
				1年(実習)	90	2.0						
2年(講義)				15	0.5							
2年(実習)				90	2.0							
部分床義歯技工学			1年(講義)	60	2.0							
			1年(実習)	90	2.0							
			2年(講義)	15	0.5							
			2年(実習)	45	1.0							
歯冠修 復技工 学		歯冠修復技工学	1年(講義)	150	5.0	495	13.0	13.0			5.0	
			1年(実習)	135	3.0							
			2年(講義)	30	1.0							
			2年(実習)	180	4.0							
小児 歯科 学		小児歯科技工学	1年(講義)	30	1.0	75	2.0	2.0			1.0	
			1年(実習)	45	1.0							
矯正 歯科 学		矯正歯科技工学	2年(講義)	30	1.0	75	2.0	2.0			1.0	
			2年(実習)	45	1.0							
歯科 実習工		歯科技工実習	1年(実習)	45	1.0	495	11.0	11.0			1.0	
			2年(実習)	450	10.0							
合計				2355	62.0	2355	62.0	62.0		58.5		

<p>授業の概要</p> <p>コミュニケーション学はコミュニケーションの定義や種類を学び医療従事者として適切な身だしなみを身につけるとともに、グループワークにて他者との協力による課題の解決やイベントの運営を通してコミュニケーションの基本となる傾聴・承認・質問のスキルや社会性を学んでいく。</p> <p>株式会社Native Design等に5年間、歯科技工士として勤務し技工部門で各種補綴装置の製作に従事してきた教員(神永)が他者とのコミュニケーションの知識や態度について学ぶ講義や討議を行う。</p>
<p>学習目標(GIO)</p> <p>コミュニケーションの定義や傾聴や承認スキルを学び、円滑なコミュニケーションを行うための知識・技能・態度を習得する。</p>

授業科目の区分	基礎分野		単位数	1
授業科目	コミュニケーション学		授業	木曜
講義室名	第2講義室	対象学年	2 学年	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任	
授業担当責任者	後藤 真宏		東北歯科技工専門学校 基幹教員	
オフィスアワー	職員室		授業方法	講義

回数	担当者	内容/学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	時間数
1・2	後藤 真宏	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションの定義を説明できる。</li> <li>コミュニケーションの種類を説明できる。</li> <li>コミュニケーションの種類を分類できる。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーションの概要を理解する</li> </ul>		
2～4	後藤 真宏	グループワーク 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の話しに傾聴できる。</li> <li>自分の意見を発言できる。</li> <li>グループワークが実施できる。</li> <li>開かれた質問・閉ざされた質問ができる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>他者にどのような欲求があるのか議論する</li> </ul>		
5～7	後藤 真宏	グループワーク 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>接遇とマナーを説明できる。</li> <li>承認のスキルができる。</li> <li>環境設定の重要性を説明できる。</li> <li>適切な伝達法を説明できる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたいことを明確にするための方法を議論する。</li> </ul>		
8～10	後藤 真宏	グループワーク 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>一方通行と双方通行のコミュニケーションを説明できる。</li> <li>共感的態度をとることができる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンキャンパスの役割分担をし、それぞれの役割で伝えたいことを議論する。</li> </ul>		
11～13	後藤 真宏	グループワーク 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者と協力し作業することができる。</li> <li>相手を想像し、適切な表現をすることができる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>各役割でオープンキャンパスの準備をする。</li> </ul>		
14・15	後藤 真宏	オープンキャンパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみを説明することができる。</li> <li>敬語の分類を説明できる。</li> </ul>	4
		<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンキャンパスを運営する</li> </ul>		

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学	医歯薬出版

評価方法
レポートによる評価

<p><b>授業の概要</b></p> <p>歯科医療従事者の中の歯科技工士の役割を理解するとともに、その歴史ならびに歯科技工学と口腔ケアの意義・目的について講義する。また、歯科技工の於ける各種装置の概要を理解するとともに、それらの使用材料や器具についてや歯科技工業務が円滑に実施できるよう、必要な運営方法や情報管理、品質管理ならびに作業環境について十分理解するとともにその心構えを学ぶ。また、歯科技工業務を円滑に遂行するための工程管理、コスト管理、品質管理を行っていくためのIT(情報技術)社会に対応できる知識を習得する。</p> <p>ブライツデンタルラボラトリーを代表社員を務め各種補綴装置の製作に従事してきた非常勤講師(木村)と有限会社KSデンタルを開業し計35年間、歯科技工士として各種補綴装置の製作および技工所の環境整備の業務に従事してきた非常勤講師(菅原)と株式会社ジーシーに2年間、歯科衛生士として勤務し口腔衛生業務の推進に従事している非常勤講師(佐藤)が歯科医療の概要や業務環境などの知識について講義を行う。</p>
<p><b>学習目標(GIO)</b></p> <p>歯科医療において歯科技工士に求められる役割を理解するために、現代社会の流れを踏まえた歯科医療の概要や歯科技工の変遷を知るとともに、円滑な歯科技工業務の実施に必要な知識を習得する。</p>

授業科目の区分	専門基礎分野		単位数	1
授業科目	歯科技工学概論		授業	木曜
講義室名	第2講義室	対象学年	2学年	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任	
授業担当責任者	神永 聡		東北歯科技工専門学校 教務主任	
オフィスアワー	1F応接室		授業方法	講義

回数	担当者	内容/学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	時間数
1・2	外部講師	<p>加齢現象・咀嚼と健康・歯および口腔の衛生管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加齢現象について広義・狭義の意味を認識し口腔領域における加齢現象について理解する。</li> <li>咀嚼が及ぼす身体への効果を理解し、それに伴う健康への効果を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>加齢現象について広義・狭義の意味を説明できる。</li> <li>口腔領域における加齢現象について説明できる。</li> <li>咀嚼に及ぼす健康への効果を説明できる。</li> </ul>	2
2	外部講師	<p>健康政策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国の健康政策づくり対策の推移について理解する。</li> <li>歯科口腔保健対策の概要を理解する。</li> <li>保健衛生法規に関する法律について認識し理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の健康政策づくり対策の推移について説明できる。</li> <li>歯科口腔保健対策について概説できる。</li> <li>保健衛生法規に関する法律について概説できる。</li> </ul>	2
3	外部講師	<p>在宅歯科医療について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化における在宅歯科医療の現状について理解する。</li> <li>在宅歯科医療における歯科技工士の役割について理解する。</li> <li>通院と在宅医療の違いについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化における在宅歯科医療の現状について説明できる。</li> <li>在宅歯科医療における歯科技工士の役割について説明できる。</li> <li>通院と在宅医療の違いについて説明できる。</li> </ul>	2
4	外部講師	<p>災害時の歯科医療について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の歯科医療救護における過去のデータを認識し災害時に予想される口腔疾患のニーズを理解する。</li> <li>災害時における歯科技工士の役割について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の歯科医療救護について概説できる。</li> <li>災害時における歯科技工士の役割について説明できる。</li> </ul>	2
5	外部講師	<p>歯科法医学と歯科技工について</p> <p>法学および医歯学の領域を扱う学問について認識し歯科技工が法医学と関連する事項について理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科技工が法医学と関連する事項について概説できる。</li> </ul>	10
6	外部講師	<p>歯科技工の作業環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歯科技工における人間工学と作業工学について理解する。</li> <li>歯科技工所における配置と面積の規則について理解し、採光と照明・換気・騒音・環境汚染対策等、歯科技工所における理想的な状態について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科技工を行うのに適切な作業環境を説明できる。</li> <li>歯科技工作業における感染防止を説明できる。</li> <li>歯科技工における人間工学と作業工学について説明できる。</li> </ul>	2

7	外部講師	歯科技工業務の運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科技工の就業形態・経営について説明できる。</li> <li>・歯科技工の品質管理・品質保証について説明できる。</li> <li>・補綴装置のトレーサビリティについて説明できる。</li> </ul>	4
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科技工の就業形態・経営について理解する。</li> <li>・歯科技工の品質管理・品質保証ならびに補綴装置のトレーサビリティについて理解する。</li> </ul>		
8	外部講師	歯科技工の品質管理に関する法令・通知と労働関係法規と社会保険について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科技工における歯科材料・機器に関する法律について概説できる。</li> <li>・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律について概説できる。</li> <li>・歯科技工に関する通知について説明できる</li> <li>・労働関係法規における各種法律と社会保険においての種類・仕組みについて概説できる。</li> </ul>	4
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科技工における歯科材料・機器に関する法律について理解する。</li> <li>・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律について理解する。</li> <li>・歯科技工に関する通知について理解する。</li> <li>・労働関係法規における各種法律の概要を理解する。</li> <li>・各職域における社会保険の種類・仕組み</li> </ul>		
9	外部講師	歯科技工における衛生管理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科技工士の健康管理に関する事項を列挙できる。</li> <li>・歯科技工士の健康管理に関する事項を説明できる。</li> <li>・歯科技工作業における感染予防について説明できる。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科技工士の健康管理、それに付随する歯科技工作業における感染予防について認識し理解する。</li> </ul>		

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 歯科技工管理学	医歯薬出版

評価方法
レポートによる評価

授業の概要

歯の解剖学は講義が「歯の解剖学」および「口腔解剖学」、実習では「歯の解剖学実習基礎」と「歯の解剖学実習応用」から構成されている。  
 「歯の解剖学」ではヒトの歯の形態、歯の発生、歯の組織について学ぶ。「口腔解剖学」では骨、筋、腺、神経、脈管など、歯を取り巻く周囲の環境についての知識を学ぶとともに、人体に関する基礎知識(人体解剖学)について学ぶ。「歯・口腔の構造と機能」では、歯科技工士として修得しなければならない最も基礎的な知識であるヒトの歯の形態、歯の発生、歯の組織について学ぶ。  
 1年次の「歯の解剖学実習基礎」では、基礎的な歯型彫刻を中心として行うが、この実習に先立ち、歯型彫刻の目的、歯型彫刻に使用する基本的な器具と材料、歯の計測法などを学ぶ。  
 2年次の「歯の解剖学実習応用」では、彫刻用素材としてワックスを用い、より自然な形態とさらに咬合の再現を試みる。最近、臨床上において機能的に再現する技術が重要視されてきていることから、その要求に対応できる歯科技工士を養成することを目的とする。株式会社Native Design等で5年間、歯科技工士として勤務しの技工部門で各種補綴装置の製作に従事してきた教員(神永)が歯牙の知識について学ぶ実習を行う。

学習目標(GIO)

基礎的な歯科の知識として口腔に関わる器官を理解し、それぞれの歯牙の形態や機能を再現する為に必要な知識・技能・態度を習得する。

授業科目の区分	専門基礎科目		単位数	1
授業科目	歯の解剖学(歯型彫刻)		授業	月～金
講義室名	2年実習室	対象学年	2学年	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任	
1・2	神永 聡		東北歯科技工専門学校 教務主任	
オフィスアワー	職員室		授業方法	実習

回数	担当者	内容/学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	時間数
1・2	神永 聡	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テック製作時の支台歯形成ができる。</li> <li>・対合歯、隣在歯との間隙を説明できる。</li> <li>・形成時に適切な器材の選択ができる。</li> <li>・咬合器への適切な装着ができる。</li> </ul>	4
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・技工士によるテック製作時の支台歯形成を理解する。</li> <li>・平均値咬合器への装着方法を理解する。</li> </ul>		
3～6	神永 聡	上顎前歯ワックスアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワックスの特性を説明できる。</li> <li>・上顎前歯の機能や特徴を説明できる。</li> <li>・審美性を考慮した上顎前歯のワックス冠を製作できる。</li> </ul>	8
		上顎前歯の機能や形態を理解し、反対側同名歯を模倣し、審美的要件を付与する様に製作する。		
7～10	神永 聡	下顎前歯ワックスアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下顎前歯の機能や特徴を説明できる。</li> <li>・審美性を考慮した下顎前歯のワックス冠を製作できる。</li> </ul>	8
		下顎前歯の機能や形態を理解し、反対側同名歯を模倣し、審美的要件を付与する様に製作する。		
11～16	神永 聡	上顎臼歯ワックスアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上顎臼歯の機能や特徴を説明できる。</li> <li>・適切な咬合を付与し、口腔内で機能しうる上顎臼歯のワックス冠を製作できる。</li> </ul>	12
		上顎臼歯の機能や形態を理解し、反対側同名歯を模倣し、優良な対合関係を付与する様に製作する。		
17～22	神永 聡	下顎臼歯ワックスアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下顎臼歯の機能や特徴を説明できる。</li> <li>・適切な咬合を付与し、口腔内で機能しうる下顎臼歯のワックス冠を製作できる。</li> </ul>	12
		下顎臼歯の機能や形態を理解し、反対側同名歯を模倣し、優良な対合関係を付与する様に製作する。		
23	神永 聡	総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審美的・機能的要件を説明できる。</li> </ul>	2
		前歯や臼歯それぞれの機能・形態・審美的要件を理解する。		

教科書・参考書

著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 口腔・顎顔面解剖学	医歯薬出版

評価方法

製作物による評価

授業の概要					
顎口腔系の主な機能は、咀嚼、嚥下、発音などであり、これらは、顎口系を構成する歯・歯周組織・上下歯列による咬合、上顎骨・下顎骨・舌骨・顎関節・とこれらに付着する筋、口唇・などの軟組織、唾液腺およびこれらの器官に関与する神経系の機能の統合によって営まれる。そのため、これらの構成単位のいずれかが障害されてもほかの構成単位の影響を及ぼし、顎口腔系全体の機能異常がある発現するといわれている。したがって、顎口腔系に異常がある場合、その形態だけではなく、両者を維持する必要がある。そのためには、歯科医師と歯科技工士とが協力し、生体に調和した形態の補綴装置を、口腔内で機能させる必要がある。これらのことを踏まえて7章からなる「顎口腔系の形態」「顎口腔系の機能」「下顎位」「下顎運動」「歯の接触様式」「咬合器」「咬合検査と顎機能障害」を学習する。					
北海道大学・東北大学病院歯科医療部門で12年間、歯科医師として勤務し歯科治療に従事してきた非常勤講師(天雲)が顎口腔における知識を学ぶ講義を行う。					
学習目標(G10)					
顎口腔機能学講義は、顎口腔機能ならびにその形態学的基礎に関する知識を習得し、歯科技工物の咬合形態と顎口腔との関連を理解することを目標とする。同実習では、半調節性咬合器の構造を理解し、取扱いに習熟することを通じて、歯科技工物の咬合面形態と患者固有の下顎運動との調和をはかる方法論を習得する。					
授業科目の区分	専門基礎分野			単位数	1
授業科目	顎口腔機能学			授業	金曜
講義室名	第1講義室	対象学年		2学年	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任		
授業担当責任者	天雲 太一		東北大学歯学研究所口腔システム補綴学分野		
1・2	講義後10分 1階応接室			授業方法	講義

	担当者	内容/学習目標(G10)	行動目標(SB0s)	時間数
1・2	天雲 太一	ガイダンス 歯と歯列、顎口腔系を構成する骨、関係する筋、顎関節、軟組織、組織、神経組織、神経支配を理解する。	・歯列と咬合の関係を説明できる。 ・顎顔面の筋の形態的特徴と機能を説明できる。 ・顎関節の構造と機能を説明できる。 ・顎口腔の神経支配を概説できる。	4
3・4	天雲 太一	顎口腔機能学の形態と機能について 顎口腔系とその機能、と形態の維持、下顎運動の分析に関係する基準点・基準面、咬合に関する平面を理解する。	・顎口腔の機能を説明できる。 ・下顎運動の分析に必要な基準点と基準平面を説明できる。 ・咬合に関する平面を説明できる。	4
5・6	天雲 太一	下顎位について 下顎位について理解する。	・下顎位の定義を説明できる ・咬頭嵌合位、中心位、下顎安静位、偏心咬合位を説明できる。	4
7・8	天雲 太一	下顎運動について 下顎運動の種類、基本運動、機能運動を理解する。	・下顎の基本運動の種類と特徴を説明できる。 ・下顎の限界運動を説明できる。 ・下顎の機能運動を説明できる。	4
9・10	天雲 太一	歯の接触様式について 歯の形態と機能、咬頭嵌合位における咬合接触、偏心位における咬合接触、咬合接触を理解する。	・機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を説明できる。 ・咬頭嵌合位と偏心位の咬合接触を説明できる。 ・咬合干渉の種類と原因を列挙できる。	4
11・12	小松 勝	咬合器の種類と特徴について 咬合器の使用目的、機構とフェイスボウトランスファー、咬合採得を理解する。	・フェイスボウの取り扱いを説明できる。 ・咬合器の種類、機構および使用目的を説明できる。 ・咬合採得の手順を列挙できる。 ・咬合器の使用手順と調節方法を説明できる。	4
13・14	小松 勝	調節性咬合器の構造と術式について 平均値咬合器、全調節性咬合器、半調節性咬合器の構造及び機構の違いを理解する。	・咬合器の種類、機構および使用目的を説明できる。 ・フェイスボウの取り扱いを説明できる。 ・咬合採得の手順を列挙できる。 ・咬合器の使用手順と調節方法を説明できる。	4
15	小松 勝	顎機能障害について 咬合検査と顎機能障害を理解する。	・スプリント療法を説明できる。 ・顎機能障害とその対応を説明できる。 ・咬合紙検査法と咬合接触圧検査法を説明できる。	2

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	新歯科技工士教本 顎口腔機能学	医歯薬出版
評価方法		
筆記試験		

## 授業の概要

顎口腔系の主な機能は、咀嚼、嚥下、発音などであり、これらは、顎口系を構成する歯・歯周組織・上下歯列による咬合、上顎骨・下顎骨・舌骨・顎関節・とこれらに付着する筋、口唇・などの軟組織、唾液腺およびこれらの器官に関与する神経系の機能の統合によって営まれる。そのため、これらの構成単位のいずれかが障害されてもほかの構成単位に影響を及ぼし、顎口腔系全体の機能異常がある発現するとされている。したがって、顎口腔系に異常がある場合、その形態だけではなく、両者を維持する必要がある。そのためには、歯科医師と歯科技工士とが協力し、生体に調和した形態の補綴装置を、口腔内で機能させる必要がある。これらのことを踏まえて7章からなる「顎口腔系の形態」「顎口腔系の機能」「下顎位」「下顎運動」「歯の接触様式」「咬合器」「咬合検査と顎機能障害」を学習する。東北大学病院歯科医療部門において歯科医師として歯科治療に従事してきた非常勤講師(重光)が顎口腔における知識や技術を学ぶ実習を行う。

## 学習目標 (GIO)

顎口腔機能学講義は、顎口腔機能ならびにその形態学的基礎に関する知識を習得し、歯科技工物の咬合形態と顎口腔との関連を理解することを目標とする。同実習では、半調節性咬合器の構造を理解し、取扱いに習熟することを通じて、歯科技工物の咬合面形態と患者固有の下顎運動との調和をはかる方法論を習得する。

授業科目目の区分	専門基礎分野		単位数	木曜
授業科目	第2講義室		授業	月～金曜
講義室名	理工検査室	対象学年	2学年	
科目担当責任者	小松 勝	所属	東北歯科技工専門学校 副校長	
授業担当責任者	重光 竜二		東北大学歯学研究科口腔システム補綴学分野	
オフィスアワー	実習後10分	1階応接室	授業方法	実習

1・2	金高 弘恭	内容/学習目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	時間数
1～5	重光 竜二 小松 勝	咬合器の種類と特徴について	・半調節性咬合器の機構と使用方法ができる。 ・フェイスボウトランスファーができる	10
		咬合器の使用目的, 機構とフェイスボウトランスファー, 咬合採得を理解する。		
6～10	重光 竜二 小松 勝	咬合器装着について	・頭蓋に対する顎と歯の位置関係及び各種の下顎位や下顎運動を生体外に再現する為に上下の模型を装着することができる。	10
		咬合器使用手順について理解する。		
11～15	重光 竜二 小松 勝	咬合器の顎路調節について チェックバイト法による顎路調節を理解する。	・前方運動記録から矢状顎路角、側方運動記録から側方顎路角、又はイミディエイトサイドシフトが測定できるように咬合器の調節方法ができる。	10
16～23	小松 勝	咬合検査と顎機能障害について 顎機能障害を理解する。	・顎関節や咀嚼筋の疼痛、顎関節音、顎運動障害などの対応として、スプリントの製作を行うことができる。	16

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	新歯科技工士教本 顎口腔機能学	医歯薬出版

評価方法
提出物による評価

## 授業の概要

有床義歯技工学は講義が、「有床義歯技工学総論」、「全部床義歯技工学」および「部分床義歯技工学」と「有床義歯とその関連事項」、実習は「全部床義歯技工学実習」と「部分床義歯技工学実習」から構成されている。「有床義歯技工学総論」では、有床義歯技工学の意義と目的を理解し、有床義歯の種類と適応症、全部床義歯の構造と特性を学ぶ。「全部床義歯技工学」は、全部床義歯の特性を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。「部分床義歯技工学」では、部分床義歯の特性を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。「有床義歯とその関連事項」では、修理、リベース・リライン、オーバーデンチャー・金属床その他の有床義歯について学ぶ。

「全部床義歯技工学実習」では、模型製作・個人トレー・咬合床や全部床義歯製作方法を学ぶ。

「部分床義歯技工学実習」では、模型製作・個人トレー・咬合床やサバイヤーの使用法クラスプ大連結子の製作など部分床義歯の製作方法を学ぶ。

有床義歯技工学では、多岐にわたる臨床理論の基礎となる考え方や製作方法を学ぶ。

## 学習目標(GIO)

全部床義歯についてより深い知識を習得し、各症例に対しての見識を深める。

授業科目の区分	専門分野		単位数	0.5
授業科目	全部床義歯技工学		授業	月～金
講義室名	第1講義室	対象学年	2学年	
科目担当責任者	八巻 賢一	所属	東北歯科技工専門学校 教務部長	
1・2	小松 勝		東北歯科技工専門学校 副校長	
オフィスアワー	職員室		授業方法	講義

回数	担当者	内容/学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	時間数
1・2	小松 勝	有床義歯技工に関連ある生体の基礎知識 生体の基礎知識を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抜歯創の治癒経過を説明できる。</li> <li>・歯列弓と顎堤弓の説明ができる。</li> <li>・基準平面の説明ができる。</li> <li>・咀嚼能率について説明できる。</li> <li>・発音について説明できる。</li> <li>・顔貌と歯の形態について説明できる。</li> <li>・残存歯肉の変化について説明できる。</li> </ul>	4
3・4	小松 勝	構成要素 総論 各構成要素について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工歯の種類・特性について説明できる。</li> <li>・義歯の安定について説明できる。</li> <li>・筋圧形成の目的について説明できる。</li> <li>・義歯の支持の様式について列挙できる。</li> </ul>	4
5・6	小松 勝	人工歯排列・歯肉形成 総論 咬合様式・クリステンセン現象・人工歯の特徴を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・williamsの3基本形について説明できる。</li> <li>・人工歯の種類・特性を説明できる。</li> <li>・人工歯各形態の特性について説明できる。</li> <li>・上顎法・下顎法の違いを列挙できる。</li> <li>・クリステンセン現象について説明できる。</li> <li>・リングライズドオクルージョンについて説明できる。</li> <li>・蝕義歯試適の点検項目を列挙できる。</li> </ul>	4
7・8	小松 勝	埋没・重合 総論 各埋没法・重合法について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スプリッドキャストについて説明できる。</li> <li>・フランス式・アメリカ式・アメリカ・フランス併用式埋没法の違いを説明できる。</li> <li>・各重合法の特徴・使用材料・器材について説明できる。</li> </ul>	4

## 教科書・参考書

著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	医歯薬出版

## 評価方法

筆記試験

<p>授業の概要</p> <p>有床義歯技工学は講義が、「有床義歯技工学総論」、「全部床義歯技工学」および「部分床義歯技工学」と「有床義歯とその関連事項」、実習は「全部床義歯技工学実習」と「部分床義歯技工学実習」から構成されている。「有床義歯技工学総論」では、有床義歯技工学の意義と目的を理解し、有床義歯の種類と適応症、全部床義歯の構造と特性を学ぶ。「全部床義歯技工学」は、全部床義歯の特性を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。「部分床義歯技工学」では、部分床義歯の特性を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。「有床義歯とその関連事項」では、修理、リベース・リライン、オーバーデンチャー・金属床その他の有床義歯について学ぶ。「全部床義歯技工学実習」では、模型製作・個人トレー・咬合床や全部床義歯製作方法を学ぶ。「部分床義歯技工学実習」では、模型製作・個人トレー・咬合床やサバイヤーの使用法クラスプ大連結子の製作など部分床義歯の製作方法を学ぶ。有床義歯技工学では、多岐にわたる臨床理論の基礎となる考え方や製作方法を学ぶ。</p>
<p>学習目標 (G10)</p> <p>全部床義歯の特性を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。</p>

授業科目の区分	専門分野		単位数	2
授業科目	全部床義歯技工学		授業	月～金
講義室名	2年実習室	対象学年	2学年	
科目担当責任者	八巻 賢一	所属	東北歯科技工専門学校 教務部長	
1・2	小松 勝		東北歯科技工専門学校 副校長	
オフィスアワー	職員室		授業方法	実習

回数	担当者	内容/学習目標 (G10)	行動目標 (SB0s)	時間数
1～5	小松 勝	個人トレー製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床的模型にて解剖学的ランドマークを認識できる。</li> <li>モデリングコンパウンドを操作できる。</li> <li>ボクシングの目的を説明できる。</li> </ul>	10
		臨床的模型を用いて個人トレーの製作を理解する		
6～10	小松 勝	咬合床製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴシックアーチの表記法を説明できる。</li> <li>リリーフメタルの目的を説明できる。</li> <li>ポストダムを形成ができる。</li> <li>常温重合レジン・咬合堤用のワックス操作ができる。</li> </ul>	10
		臨床的模型を用いて咬合床製作を理解する		
11～13	小松 勝	咬合器装着	<ul style="list-style-type: none"> <li>スプリッドキャスト法を用いて作業用模型を咬合器に装着できる。</li> </ul>	6
		スプリッドキャスト法での咬合器装着を理解する。		
14～22	小松 勝	人工歯排列	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工歯の選択方法を説明できる。</li> <li>下顎法での排列手順を説明できる。</li> <li>歯槽頂間線の法則を説明できる。</li> <li>ニュートラルゾーンの説明ができる。</li> <li>パウンドラインの説明ができる。</li> <li>フルバランスドオクルージョンについて説明できる。</li> <li>人工歯排列ができる。</li> </ul>	18
		人工歯排列について理解する。		
23～31	小松 勝	歯肉形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯肉形成の目的を説明できる。</li> <li>各部位の形成の目的・形状を説明できる。</li> <li>歯肉形成ができる。</li> <li>口蓋ヒダを形成できる。</li> </ul>	18
		歯肉形成について理解する。		
32～35	小松 勝	埋没・重合	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカ式埋没法での埋没作業ができる。</li> <li>流蟻の手順を列挙できる。</li> <li>湿式重合法の加熱スケジュールを説明できる。</li> <li>加熱重合レジンの操作ができる。</li> </ul>	8
		埋没・重合について理解する。		
36～39	小松 勝	咬合器再装着・削合	<ul style="list-style-type: none"> <li>スプリッドキャスト法を用いて咬合器に模型を再装着できる。</li> <li>選択削合、自動削合および人工歯咬合形態修正ができる。</li> <li>スピルウェイ(通路)の目的を説明できる。</li> </ul>	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>咬合器への再装着を理解する。</li> <li>全部床義歯の削合を理解する。</li> </ul>		

40～45	小松 勝	研磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研磨の目的を説明できる。</li> <li>・ 研磨の要点・手順を説明できる。</li> <li>・ 研磨に使用する器材・材料を的確に操作できる。</li> <li>・ 完成後の保管について理解できる。</li> </ul>	12
		研磨について理解する。		

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	医歯薬出版

評価方法
製作物への評価

## 授業の概要

有床義歯技工学は講義が、「有床義歯技工学総論」、「全部床義歯技工学」および「部分床義歯技工学」と「有床義歯とその関連事項」、実習は「全部床義歯技工学実習」と「部分床義歯技工学実習」から構成されている。「有床義歯技工学総論」では、有床義歯技工学の意義と目的を理解し、有床義歯の種類と適応症、全部床義歯の構造と特性を学ぶ。「全部床義歯技工学」は、全部床義歯の特性を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。「部分床義歯技工学」では、部分床義歯の特性を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。「有床義歯とその関連事項」では、修理、リベース・リライン、オーバーデンチャー・金属床その他の有床義歯について学ぶ。

「全部床義歯技工学実習」では、模型製作・個人トレー・咬合床や全部床義歯製作方法を学ぶ。

「部分床義歯技工学実習」では、模型製作・個人トレー・咬合床やサバイヤーの使用法クラスプ大連結子の製作など部分床義歯の製作方法を学ぶ。

有床義歯技工学では、多岐にわたる臨床理論の基礎となる考え方や製作方法を学ぶ。

ホテツセンターラボラトリーに2年間、歯科技工士として勤務し義歯製作に従事してきた教員(八巻)が歯科技工実習における知識を学ぶ講義を行う。

## 学習目標 (GIO)

部分床義歯の関連事項で、修理、リベース・リライン、ノンメタルクラスプデンチャーについて理解する。

授業科目の区分	専門分野		単位数	0.5
授業科目	部分床義歯技工学		授業	月～金曜
講義室名	第1講義室	対象学年	2学年	
1・2	八巻 賢一	所属	東北歯科技工専門学校 教務部長	
授業担当責任者	八巻 賢一		東北歯科技工専門学校 教務部長	
オフィスアワー	1階職員室		授業方法	講義

回数	担当者	内容/学習目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	時間数
1	八巻 賢一	修理	<ul style="list-style-type: none"> <li>破折と破損の原因を列挙できる。</li> <li>修理方法を説明できる。</li> <li>支台装置の修理について説明できる。</li> </ul>	2
		義歯の修理について理解する。		
2	八巻 賢一	リベースおよびリライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>リベースとリラインの目的を述べる。</li> <li>リベースとリラインの方法を説明できる。</li> </ul>	2
		リベースおよびリラインについて理解する。		
3	八巻 賢一	ノンメタルクラスプデンチャー	<ul style="list-style-type: none"> <li>種類と適応症について説明できる。</li> <li>使用材料について説明できる。</li> <li>利点・欠点について説明できる。</li> </ul>	2
		ノンメタルクラスプデンチャーについて理解する。		
4～8	八巻 賢一	総論	<ul style="list-style-type: none"> <li>症例による分類について説明できる。</li> <li>各種維持装置の分類・特徴を説明できる。</li> <li>各種埋没方法・重合方法について説明できる。</li> </ul>	10
		部分床義歯について理解する。		

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	医歯薬出版

評価方法
筆記試験

## 授業の概要

有床義歯技工学は講義が、「有床義歯技工学総論」、「全部床義歯技工学」および「部分床義歯技工学」と「有床義歯とその関連事項」、実習は「全部床義歯技工学実習」と「部分床義歯技工学実習」から構成されている。 「有床義歯技工学総論」では、有床義歯技工学の意義と目的を理解し、有床義歯の種類と適応症、全部床義歯の構造と特性を学ぶ。「全部床義歯技工学」は、全部床義歯の特性を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。「部分床義歯技工学」では、部分床義歯の特性を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。「有床義歯とその関連事項」では、修理、リベース・リライン、オーバーデンチャー・金属床その他の有床義歯について学ぶ。

「全部床義歯技工学実習」では、模型製作・個人トレー・咬合床や全部床義歯製作方法を学ぶ。  
「部分床義歯技工学実習」では、模型製作・個人トレー・咬合床やサバイヤーの使用法クラスプ大連結子の製作など部分床義歯の製作方法を学ぶ。

有床義歯技工学では、多岐にわたる臨床理論の基礎となる考え方や製作方法を学ぶ。

ホテツセンターラボラトリーに2年間、歯科技工士として勤務し義歯製作に従事してきた教員(八巻)が歯科技工実習における知識を学ぶ講義を行う。

## 学習目標(GIO)

部分床義歯の特性を理解し、製作の工程や製作方法を学ぶ。

授業科目の区分	専門分野		単位数	1
授業科目	部分床義歯技工学		授業	月～金曜
講義室名	2年実習室	対象学年	2学年	
1・2	八巻 賢一	所属	東北歯科技工専門学校 教務部長	
授業担当責任者	八巻 賢一		東北歯科技工専門学校 教務部長	
オフィシアワー	1階職員室		授業方法	実習

回数	担当者	内容/学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	時間数
1・2	八巻 賢一	部分床義歯の印象採得に伴う操作(Ⅱ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業用模型を製作できる。</li> <li>解剖学的ランドマークを説明できる。</li> <li>オルタードキャスト法を説明できる。</li> </ul>	4
		部分床義歯の印象採得に伴う技工操作を理解する。		
3・4	八巻 賢一	部分床義歯の咬合採得に伴う技工操作(Ⅱ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業用模型を咬合器に装着できる。</li> <li>咬合床を製作できる。</li> </ul>	4
		部分床義歯の咬合採得に伴う技工操作を理解する。		
5～8	八巻 賢一	線鉤の製作(Ⅱ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>サバイヤーを使用できる。</li> <li>製作する鉤によるブロックアウトの違いを説明できる。</li> <li>線鉤を屈曲できる。</li> <li>線鉤を研磨できる。</li> </ul>	8
		線鉤の製作方法を理解する。		
9～12	八巻 賢一	屈曲バーの製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>屈曲バーの屈曲ができる。</li> <li>屈曲バーの製作手順を説明できる。</li> <li>使用目的による鉗子の選択ができる。</li> <li>屈曲バーの研磨ができる。</li> </ul>	8
		屈曲バーの製作を理解する。		
13～15	八巻 賢一	部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成(Ⅱ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工歯排列ができる。</li> <li>人工歯排列の手順を説明できる。</li> <li>歯肉形成がおこなえる。</li> <li>歯肉形成における残存歯との関係が説明できる。</li> <li>人工歯の選択に関わる要素を説明できる。</li> </ul>	6
		部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成を理解する。		
16～18	八巻 賢一	部分床義歯の埋没と重合(Ⅱ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカ式・フランス式併用式埋没法の手順を説明できる。</li> <li>部分床義歯の埋没・流鏝および重合ができる。</li> <li>加熱重合レジンの加熱スケジュールを説明できる。</li> </ul>	6
		部分床義歯の埋没と重合を理解する。		
19・20	八巻 賢一	部分床義歯の咬合調整と研磨(Ⅱ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>部分床義歯を研磨の手順を説明できる。</li> <li>研磨に使用する器材の特性を説明できる。</li> </ul>	4
		部分床義歯の咬合調整と研磨ができる		
21～23	八巻 賢一	体験義歯製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の口腔内印象を用いて作業用模型を製作できる。</li> <li>口蓋部に常温重合レジンの圧接ができる。</li> <li>体験義歯の研磨ができる。</li> </ul>	6
		口蓋部にレジンプレートを装着することにより、義歯の装着感を疑似体験する。		

## 教科書・参考書

著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	最新歯科技工士教本 有床義歯技工学	医歯薬出版

## 評価方法

製作物による評価

# 歯冠修復技工学

令和7年 4月～令和8年 2月

## 授業の概要

講義においては、歯冠修復技工の目的、種類、構造、材料、製作手順について顎口腔系の生理学的形態学的理論と関連づけ、歯冠修復治療の流れを講義する。

実習においては、各歯冠修復物を解剖学的な基本形態に沿って製作するだけでなく、歯周組織との関係、咬合、審美性、全身状態などを把握し機能的な歯冠修復物を製作できる手順や材料選択、知識を学ぶ。

エムズプロ等で19年間、歯科技工士として勤務・経営をし各種補綴装置の製作に従事してきた教員(後藤)が歯冠修復物の製作における製作・技術について実習を行う。が歯冠修復物の製作における知識・技術・材料理論について講義および討議を行う。

## 学習目標 (GIO)

歯冠や歯の欠損に対する歯冠修復技工学の概要や目的を理解し、歯冠修復技工における基礎的事項と臨床的事項の実際を習得する。

授業科目の区分	専門基礎分野		単位数	木曜
授業科目	第2講義室		授業	月～金曜
講義室名	第1講義室	対象学年	2学年	
科目担当責任者	後藤 真宏	所属	東北歯科技工専門学校 基幹教員	
授業担当責任者	後藤 真宏		東北歯科技工専門学校 基幹教員	
オフィスアワー	職員室		授業方法	講義

1・2	金高 弘恭	内容/学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	時間数
1	後藤 真宏	歯冠修復技工学の意義と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯冠修復技工学の目的を説明する。</li> <li>歯冠修復技工学の意義を説明する。</li> <li>歯冠修復技工の流れを記述する。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歯冠修復の目的を認識し、技工物製作の流れの実際を理解する。</li> </ul>		
2	後藤 真宏	クラウンの概要と種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯冠修復物の種類を列記する。</li> <li>歯冠修復物を比較する。</li> <li>部分被覆冠を説明する。</li> <li>全部被覆冠を説明する。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>冠修復物を分類し、各々を比較することにより実際を認識する。</li> </ul>		
3	後藤 真宏	ブリッジの概要と種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブリッジの構成を具体的に述べる。</li> <li>ブリッジを分類する。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ブリッジの概要を知り、その特徴や構成の実際を理解する。</li> </ul>		
4	後藤 真宏	クラウンとブリッジの具備要件 (生物学的要件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯冠修復物に求められる要件を列記する。</li> <li>生物学的要件を分類する。</li> <li>歯と歯列との関係について述べる。</li> <li>歯周組織との関係について述べる。</li> <li>清掃性との関係について述べる。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歯冠修復物に求められる要件、特に生物学的要件について理解する。</li> </ul>		
5	後藤 真宏	クラウンとブリッジの具備要件 (構造力学的要件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>構造力学的要件を分類する。</li> <li>構造力学的要件を具体的に述べる。</li> <li>力学安定性について述べる。</li> <li>維持力について述べる。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歯冠修復物に求められる要件、特に構造力学的要件について理解する。</li> </ul>		
6	後藤 真宏	クラウンとブリッジの具備要件 (化学的・審美的要件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学的要件を説明する。</li> <li>化学的安定性について述べる。</li> <li>審美的要件を述べる。</li> <li>形態、排列と色調について述べる。</li> <li>心理的要件について述べる。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歯冠修復物に求められる要件、特に化学的審美的要件について理解する。</li> </ul>		
7	後藤 真宏	クラウンとブリッジの具備要件 (印象材、印象、トレー、スタディモデル)	<ul style="list-style-type: none"> <li>印象材を類別する。</li> <li>印象材の取り扱いを述べる。</li> <li>スタディモデルの用途を具体的に述べる。</li> <li>トレーの種類を分類する。</li> <li>トレーの製作方法を説明する。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>印象の意義を理解し、印象と模型の関連の実際を認識する。</li> </ul>		
8	後藤 真宏	クラウンとブリッジの具備要件 (作業用模型とトリミング、辺縁形態と咬合器装着)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業用模型の要件について述べる。</li> <li>作業用模型の特徴について述べる。</li> <li>作業用模型の種類について述べる。</li> <li>トリミングの実際について理解する。</li> <li>辺縁形態を分類し、修復物との関連について述べる。</li> <li>咬合器の種類と取り扱いを説明する。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>作業用模型とトリミングについて理解する。また、歯冠修復物に適合される辺縁形態について知る。さらに、技工操作に必要な咬合器の実際について理解する。</li> </ul>		
9	後藤 真宏	クラウンとブリッジの具備要件 (全部金属冠、ワックスアップと埋没法)	<ul style="list-style-type: none"> <li>意義、特徴および適応用途について述べる。</li> <li>ワックスアップの目的を知る。</li> <li>ワックスアップの方法を列記する。</li> <li>埋没の手順について説明する。</li> <li>埋没方法の違いを説明する。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>全部金属冠の意義、特徴および適応用途について理解する。ロストワックス法を知り、ワックスアップと埋没法の詳細の実際について身につける。</li> </ul>		

10	後藤 真宏	クラウンとブリッジの具備要件 (鑄造作業、連結法、連結、研磨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑄造法を列記する。</li> <li>・連結法の目的を説明する。</li> </ul>	2
		・歯科精密鑄造を知り、さらに連結法などの 技工操作の実際について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑄付けの方法を述べる。</li> <li>・研磨の目的を説明する。</li> <li>・研磨の方法を分類する。</li> </ul>	
11	後藤 真宏	クラウンとブリッジの具備要件 (試適、仮着、合着、支台築造、テンポラ リークラウン・ブリッジ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テンポラリークラウンの意義と目的を列記 する。</li> <li>・テンポラリークラウンの製作方法を述べる。</li> </ul>	2
		・支台築造の意義と目的について知り、さら に使用材料や製作法について理解する。テン ポラリークラウンの意義、目的について知 り、さらに製作法の実際について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支台築造の意義、目的を列記する。</li> <li>・支台築造の製作法について説明する。</li> <li>・メタルコアの目的を具体的に述べる。</li> </ul>	
12	後藤 真宏	歯冠修復物と部分被覆冠 (保存修復の目的、インレー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯の硬組織疾患を説明する。</li> <li>・保存修復の目的を述べる。</li> <li>・保存修復材料を類別する。</li> <li>・修復時に要求される形態を分類する。</li> </ul>	2
		・歯の硬組織疾患に対する保存修復の目的に ついて習得する。保存修復治療に用いられる 材料について理解する。さらに、修復に要求 される形態の実際について知る。		
13	後藤 真宏	歯冠修復物と部分被覆冠 (窩洞の分類、現在の保存修復治療)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・窩洞形態を分類する。</li> <li>・窩洞形態の定義を説明する。</li> <li>・現在の保存治療の特徴を述べる。</li> </ul>	2
		・窩洞の形態による分類を認識する。さら に、現在の保存修復治療の実際について知 る。		
14	後藤 真宏	全部被覆冠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全部被覆冠の種類と特許を列挙できる。</li> <li>・前装部の形態と接着法を説明できる。</li> <li>・陶材の築盛法を説明できる。</li> <li>・コンデンスの意義を述べる。</li> <li>・陶材の焼成を説明できる。</li> <li>・陶材の破折原因を説明できる。</li> <li>・陶材焼付金属冠の製作法を説明できる。</li> </ul>	2
		・全部被覆冠の種類、特徴、製作法の実際 について理解する。		
15	後藤 真宏	ブリッジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンティックの要件と構造を列挙できる。</li> <li>・ポンティックの種類と形態を説明できる。</li> </ul>	2
		・ポンティックの要件、構造および種類や形 態を理解し適用部位の実際について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンティックの適用部位を説明できる。</li> <li>・連結法の種類、適応および用途を説明でき る。</li> </ul>	

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	新歯科技工士教本 歯冠修復技工学	医歯薬出版

評価方法
筆記試験

# 歯冠修復技工学

令和7年 4月～令和8年 2月

## 授業の概要

講義においては、歯冠修復技工の目的、種類、構造、材料、製作手順について顎口腔系の生理学的形態学的理論と関連づけ、歯冠修復治療の流れを講義する。  
 実習においては、各歯冠修復物を解剖学的な基本形態に沿って製作するだけでなく、歯周組織との関係、咬合、審美性、全身状態などを把握し機能的な歯冠修復物を製作できる手順や材料選択、知識を学ぶ。  
 エムズプロ等で19年間、歯科技工士として勤務・経営をし各種補綴装置の製作に従事してきた教員(後藤)が歯冠修復物の製作・技術について実習を行う。

## 学習目標(GIO)

歯冠修復技工操作の各種手技を基礎的事項と臨床的事項を通じて実際に習得する。

授業科目の区分	専門基礎分野		単位数	4
授業科目	歯冠修復技工学		授業	木曜
実習室名	第2学年実習室	対象学年	2 学年	
科目担当責任者	後藤 真宏	所属	東北歯科技工専門学校 基幹教員	
授業担当責任者	後藤 真宏		東北歯科技工専門学校 基幹教員	
オフィスアワー	講義後10分	1 階職員室	授業方法	実習

回数	担当者	内容/学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	時間数
1・2	金高 弘恭	インレー・クラウンの製作 (作業用模型製作)	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業用模型製作に必要な器材の準備ができる。</li> <li>作業用模型製作の工程を説明できる。</li> <li>歯型可撤式模型の製作ができる。</li> <li>辺縁形態の識別ができる。</li> </ul>	6
		・作業用模型の種類を理解し製作できる。		
4～6	後藤 真宏	インレー・クラウンの製作 (咬合器装着)	<ul style="list-style-type: none"> <li>咬合器装着に必要な器材の準備ができる。</li> <li>咬合器の事前チェックができる。</li> <li>噛み合わせの確認ができる。</li> </ul>	6
		・平均値咬合器の各部の名称、使用方法の実際を理解する。		
7～10	後藤 真宏	インレー・クラウンの製作 (ワックスアップ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワックスアップに必要な器材の準備ができる。</li> <li>残存歯列を観察し機能を考えた形態を付与できる。</li> <li>歯周組織との関係性を考えることができる</li> </ul>	8
		・インレー・クラウンの製作法を理解し、小臼歯、大臼歯のワックスアップの実際を理解する。		
11～14	後藤 真宏	インレー・クラウンの製作 (埋没・鋳造・研磨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋没、鋳造、研磨に必要な器材の準備ができる。</li> <li>二重埋没法ができる。</li> <li>適切な加熱スケジュールを説明できる。</li> <li>遠心鋳造法で鋳造ができる。</li> </ul>	8
		・埋没、鋳造、研磨の実際を理解する。		
15～18	後藤 真宏	インレー・クラウンの製作 (仕上げ研磨・完成・提出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>鋳造欠陥の有無を観察できる。</li> <li>各研磨の工程を説明できる。</li> <li>各研磨の工程を実施できる。</li> <li>研磨器材・材料を適切に取扱うことができる。</li> </ul>	8
		・完成、提出について理解する。		
19～21	後藤 真宏	架橋義歯 (ワンピースキャスト法) 作業用模型製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポンティックの要件と構造を列挙できる。</li> <li>ポンティックの種類と形態を説明できる。</li> <li>ポンティックの適用部位を説明できる。</li> <li>連結法の種類、適応および用途を説明できる。</li> <li>正確な歯型可撤式模型の製作ができる。</li> </ul>	6
		・歯冠修復の目的を認識し、架橋義歯製作の流れの実際を理解する。		
22～24	後藤 真宏	架橋義歯 (ワンピースキャスト法) 模型製作・咬合器装着	<ul style="list-style-type: none"> <li>噛み合わせの確認ができる。</li> <li>正確な咬合器装着ができる。</li> </ul>	6
		・ブリッジの概要を知り、その特徴や構成の実際を理解する。		
25～28	後藤 真宏	架橋義歯 (ワンピースキャスト法) ワックスアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブリッジの構成を具体的に述べる。</li> <li>ワックスアップの方法を説明できる。</li> <li>ワンピースキャスト法の説明ができる。</li> <li>ワックスパターンの連結ができる。</li> </ul>	8
		・ワックスアップの目的、方法および外形の実際を理解する。		
29～32	後藤 真宏	架橋義歯 (ワンピースキャスト法) 埋没・鋳造・研磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋没作業の留意点を説明できる。</li> <li>鋳造の手順について説明できる。</li> <li>連結部の研磨ができる。</li> <li>基底面の処理について説明できる。</li> </ul>	8
		・歯科精密鋳造を知り、さらに連結法などの技工操作の実際について理解する。		

33~35	後藤 真宏	架橋義歯 (ワンピースキャスト法) 仕上げ研磨・完成・提出	<ul style="list-style-type: none"> <li>架橋義歯の製作工程を説明できる。</li> <li>金属裏装ボンティックについて説明できる</li> <li>製作物・模型を綺麗に洗浄できる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>完成、提出について理解する。</li> </ul>		
36~38	後藤 真宏	メタルコア白歯・テンポラリーブリッジの製作 (作業用模型、咬合器装着)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯型固着式模型の製作ができる。</li> <li>正確な咬合で咬合器装着ができる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>メタルコアの目的を理解し、製作手順を身につける。</li> </ul>		
39~42	後藤 真宏	メタルコア白歯・テンポラリーブリッジの製作 (ワックスアップ・埋没・研磨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>メタルコア製作に必要な器材の準備ができる。</li> <li>メタルコア(白歯)の形態の説明ができる。</li> <li>メタルコア製作の留意点を説明できる。</li> </ul>	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>メタルコア製作手順を身につける。</li> </ul>		
43~46	後藤 真宏	メタルコア白歯・テンポラリーブリッジの製作 (歯冠回復・シリコンコア・支台歯形成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>テンポラリーブリッジ製作に必要な器材の準備ができる。</li> <li>適切な形態でのワックスアップができる。</li> <li>正確な印象を取ることができる。</li> </ul>	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>テンポラリーブリッジの製作手順を身につける。</li> </ul>		
47~50	後藤 真宏	メタルコア白歯・テンポラリーブリッジの製作 (レジン填入・研磨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>研磨に必要な器材の準備ができる。</li> <li>正確にレジンの転入ができる。</li> <li>形態修正を行うことができる。</li> </ul>	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>レジンの製作手順を身につける。</li> </ul>		
51~54	後藤 真宏	メタルコア白歯・テンポラリーブリッジの製作 (仕上げ・提出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>テンポラリーブリッジの適切な研磨ができる。</li> <li>色調選択について説明できる。</li> <li>テンポラリーブリッジの製作工程を説明できる。</li> </ul>	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>完成、提出について理解する。</li> </ul>		
55~57	後藤 真宏	硬質レジン前装冠 (作業用模型製作・咬合器装着)	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確な歯型可撤式模型の製作ができる。</li> <li>歯型の辺縁形態を認識し、適したトリミングを行うことができる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>硬質レジン前装冠の目的を理解し作業手順を理解する。</li> </ul>		
58~61	後藤 真宏	硬質レジン前装冠 (ワックスアップ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>残存歯列に調和したワックスアップができる。</li> <li>審美性を考慮した形態を付与できる。</li> </ul>	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歯冠形態を把握しワックスアップの製作手順を理解する。</li> </ul>		
62~65	後藤 真宏	硬質レジン前装冠 (窓開け・埋没・鋳造)	<ul style="list-style-type: none"> <li>窓開けの説明ができる。</li> <li>リテンションピースの目的を説明できる。</li> <li>窓開け作業ができる。</li> <li>適切な埋没操作ができる。</li> </ul>	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科精密鋳造を理解し、鋳造操作の実際を理解する。</li> <li>窓開けの作業の実際を理解する。</li> </ul>		
66~69	後藤 真宏	硬質レジン前装冠 (研磨・調整・レジン築盛)	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレーム調整ができる。</li> <li>各レジンの役割が説明できる。</li> <li>歯牙の内部構造を理解して築盛できる。</li> <li>歯型への適合調整ができる。</li> </ul>	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>レジン築盛の実際を理解する。</li> </ul>		
70~73	後藤 真宏	硬質レジン前装冠 (形態修整・研磨・提出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な形態修整ができる。</li> <li>反対側同名歯の表面形態を再現できる。</li> <li>硬質レジン・金属の研磨ができる。</li> </ul>	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>形態修整の仕方を理解する。</li> </ul>		
74~76	後藤 真宏	架橋義歯 (鑲着法) 作業用模型製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確な歯型可撤式を製作できる。</li> <li>歯周組織の状態を認識し、正確な模型調整ができる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歯冠修復の目的を認識し、架橋義歯製作の流れの実際を理解する。</li> </ul>		
77~79	後藤 真宏	架橋義歯 (鑲着法) 模型製作・咬合器装着	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な咬合状態を認識できる。</li> <li>ボンティックの種類と形態を説明できる。</li> <li>正確な咬合器装着ができる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ブリッジの概要を知り、その特徴や構成の実際を理解する。</li> </ul>		

80～83	後藤 真宏	架橋義歯（鑲着法） ワックスアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能的な形態でのワックスアップができる</li> <li>鑲着法での形態を説明できる。</li> </ul>	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ワックスアップの目的、方法および外形の実際を理解する。</li> </ul>		
84～87	後藤 真宏	架橋義歯（鑲着法） 埋没・鑄造・研磨	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑲着の手順について説明できる。</li> <li>埋没法で鑲着ができる。</li> <li>鑲着に必要な器材の準備ができる。</li> </ul>	8
		<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科精密鑄造を知り、さらに連結法などの技工操作の実際について理解する。</li> </ul>		
88～90	後藤 真宏	架橋義歯（鑲着法） 鑲着・研磨・完成	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンピースキャスト法との違いを説明できる。</li> <li>鑲着部の適切な研磨ができる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>完成、提出について理解する。</li> <li>鑲着について理解する。</li> </ul>		
教科書・参考書				
著書・編者		書名		出版社
全国歯科技工士教育協議会		新歯科技工士教本 歯冠修復技工学		医歯薬出版
東北歯科技工専門学校		東北歯科技工専門学校実習指針書		東北歯科技工専門学校
評価方法				
製作物への評価				

<p>授業の概要</p> <p>矯正歯科技工学は、基本的知識を基に、不正咬合(異常咬合)による咀嚼機能や口腔内の清掃性の低下、発音機能障害などを改善し、審美的矯正治療においても形態的、機能的、生理学的、心理的、運動的などから、矯正歯科技工学を十分理解し、予防、診断、治療など修得する。また、その得た知識により矯正装置を正しく製作できるよう学習する。 東北大学病院小児歯科治療部で2年間、歯科医師として勤務し歯科医療に従事している非常勤講師(大島)が矯正歯科技工学における知識・態度を学ぶ講義を行う。</p>
---

<p>学習目標(GIO)</p> <p>矯正歯科治療において矯正歯科技工がどの様に関わるかを理解し、個々の正常咬合に向けた知識・技能を習得することを目標とする。</p>
--

授業科目の区分	専門基礎分野		単位数	1
授業科目	矯正歯科技工学		授業	木曜
講義室名	第2講義室	対象学年	2学年	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任	
授業担当責任者	大島 絵恋		東北大学歯学研究科 顎口腔矯正学分野	
オフィスアワー	講義後10分	1階応接室	授業方法	講義

回数/(日付)	担当者	内容/学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	時間数
1・2	金高 弘恭	矯正歯科治療における歯科技工の意義と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>矯正歯科治療における矯正歯科技工の意義と目的を説明できる。</li> <li>矯正歯科治療における症例分析法を説明できる。</li> <li>不正咬合(咬合異常)による障害を説明できる。</li> <li>矯正歯科技工の目的を説明できる。</li> </ul>	4
		<p>矯正歯科技工学を行う上での基礎知識と学習方法を理解する。</p> <p>不正咬合による障害を理解する。</p> <p>治療の流れを知り、歯科技工との関連について理解する。</p> <p>正常咬合と不正咬合(咬合異常)</p> <p>正常咬合の基本的要素を理解する。</p> <p>正常咬合と不正咬合(咬合異常)について理解する。</p>		
3～5	大島 絵恋	矯正歯科治療の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>矯正治療の流れと歯科技工の関わりを述べる。</li> <li>症例分析・診断の流れを述べる。</li> <li>動的矯正治療と静的矯正治療について説明できる。</li> <li>歯の移動メカニズムについて述べる。</li> <li>固定源の場所による分類を説明する。</li> </ul>	6
		矯正歯科技工用具と手技		
		矯正歯科技工に用いられる器具・器材を列記し、特徴を理解する。		
		矯正歯科技工における基本的手技を理解する。		
矯正用線の屈曲の原則を理解し、自在鑑付け法を修得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>矯正歯科技工によく用いられる器械・器具名と材料の種類を列記でき、用途を説明できる。</li> <li>矯正用線屈曲の原則を説明できる。</li> <li>自在鑑付けの原則・手順を説明できる。</li> <li>矯正用レジンの使用法を述べる。</li> </ul>			
6～8	大島 絵恋	矯正装置の条件と分類について	<ul style="list-style-type: none"> <li>動的矯正装置と保定装置の必要条件を説明できる。</li> <li>矯正装置を各々に分類し列記できる(矯正力の働き方・固定源の場所・固定式と可撤式)。</li> </ul>	6
		矯正装置必要条件を理解する。		
		矯正装置の分類を理解する。		
動的矯正装置の種類と製作法 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>舌側弧線装置の目的、材料を述べる。</li> <li>舌側弧線装置の構成、製作法(注意点含め)説明できる。</li> <li>補助弾線の種類と作用方向を説明できる。</li> <li>顎間固定装置の目的、構成を説明できる。</li> </ul>			
9・10	大島 絵恋	動的矯正装置の種類と製作法 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>構成咬合位・構成咬合器を説明できる。</li> <li>アクチバトール(F.K.O.)、バイオネーターの目的、構成、使用材料を理解し、製作法と注意点を列記できる。</li> <li>咬合準上板・咬合斜面板の目的、構成、使用材料を理解し、製作法と注意点を説明できる。</li> <li>歯列弓拡大装置の目的を述べる。</li> <li>歯列弓拡大装置の種類を列記する。</li> <li>可撤式拡大装置の構成、製作上注意点を列記できる。</li> <li>固定式拡大装置の目的、構成を列記し、製作上注意点を述べる。</li> <li>固定式急速拡大装置の構成を列記できる。</li> </ul>	4
		<p>アクチバトール(F.K.O.)、バイオネーター、咬合準上板、咬合斜面板について目的、構成および製作法を理解する。</p> <p>歯列弓拡大装置の目的、種類を把握する。</p> <p>各々の歯列弓拡大装置の構成、製作法と製作上の注意点を理解する。</p>		

11・12	大島 絵恋	動的矯正装置の種類と製作法 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘッドギアの目的、構成を列記できる。</li> <li>・オトガイ帽装置の目的、構成を列記できる。</li> <li>・上顎前方牽引装置の目的、構成を列記できる。</li> <li>・ナンスのホールディングアーチの目的、構成を説明できる。</li> <li>・リップバンパー目的、構成を説明できる。</li> <li>・マルチブラケット装置の目的、材料、製作方法(ダイレクトボンディング法・インダイレクトボンディング法)など特徴を理解し説明できる。</li> <li>・フレンケルの装置の目的、特徴を説明できる。</li> </ul>	4
		<p>顎外矯正装置の目的、種類、構成を把握し、ナンスのホールディングアーチの目的、構成を理解する。 リップバンパー、マルチブラケット装置の製作方法を 知り、特徴を理解する。 フレンケルの装置の目的、特徴を理解する。</p>		
13～15	金高 弘恭	保定装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保定装置の種類、特徴を説明できる。</li> <li>・ホーレーの保定装置、ラップアラウンドリテーナーの目的、構成、製作法(注意点含む)を説明できる。</li> <li>・トゥースポジショナーの目的、構成を述べる。</li> <li>・マウスピース型カスタムメイド矯正歯科装置の目的を述べる</li> <li>・スプリングリテーナーの目的、構成および製作法(注意点を含む)を説明できる。</li> <li>・下顎犬歯間リテーナーの目的、構成を述べる。</li> </ul>	6
		矯正歯科技工学総論		
		矯正歯科治療での歯科技工士の担う役割と必要な知識・技術を理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の歯科矯正治療を説明できる。</li> <li>・動的矯正装置・静的矯正装置の役割を説明できる。</li> </ul>	

教科書・参考書		
著書・编者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	第2版 最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学	医歯薬出版

評価方法	
筆記試験	

<b>授業の概要</b>	
矯正歯科技工学は、基本的知識を基に、不正咬合(異常咬合)による咀嚼機能や口腔内の清掃性の低下、発音機能障害などを改善し、審美的矯正治療においても形態的、機能的、生理学的、心理的、運動的などから、矯正歯科技工を十分理解し、予防、診断、治療など修得する。また、その得た知識により矯正装置を正しく製作できるよう学習する。 東北大学病院小児歯科治療部で2年間、歯科医師として勤務し歯科医療に従事している非常勤講師(大島)と株式会社Native Design等で5年間、歯科技工士として勤務をし各種補綴装置の製作に従事してきた教員(神永)が歯科技工物の製作・技術について実習を行う。	
<b>学習目標(GIO)</b>	
個人ごとの異なる口腔条件により成り立つ咬合状態や、審美的、心理面などに対しても、個人にとって最良となる矯正装置や、保定装置を製作するため、それぞれの目的、特徴、製作上の注意点を学習し、技術を習得することを目標とする。	

授業科目の区分	専門基礎分野		単位数	2
授業科目	矯正歯科技工学		授業	木曜
実習室名	第2学年実習室	対象学年	2学年	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任	
授業担当責任者	大島 絵恋		東北大学歯学研究科 顎口腔矯正学分野	
オフィスアワー	実習後10分 1階応接室		授業方法	実習

回数/(日付)	担当者	内容/学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	時間数
1	大島 絵恋	自在鑑付け法の手技 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑付け法の種類、利点・欠点について述べる。</li> <li>矯正用線の屈曲の一般的原則を説明できる。</li> <li>線屈曲の位置、方向、角度を正確に修得できる。</li> <li>自在鑑付けの一般的原則と手順を説明できる。</li> <li>自在鑑付けの主線の屈曲ができる。</li> </ul>	2
		<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑付け法の種類を理解する。</li> <li>自在鑑付け法の一般的原則や手順について理解する。</li> <li>矯正用線の屈曲における手技について理解し、自在鑑付けの主線の屈曲を修得する。</li> </ul>		
2	大島 絵恋 神永 聡	自在鑑付け法の手技 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>弾線の種類、特徴を説明できる。</li> <li>弾線の鑑付けができる。</li> </ul>	6
		自在鑑付け法の手技 3		
3	大島 絵恋 神永 聡	舌側弧線装置の製作 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>舌側弧線装置の目的について述べる。</li> <li>舌側弧線装置の構成について述べる。</li> <li>舌側弧線装置の製作順序(注意点を含む)を説明できる。</li> <li>舌側弧線装置の模型を製作できる。</li> <li>維持バンド(帯環)を適合させるための模型調整ができる。</li> <li>維持バンドを適合させることができる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>動的矯正装置の意義と目的について理解する。</li> <li>舌側弧線装置の構成、製作順序を理解する。</li> <li>舌側弧線装置製作のための模型準備を理解する。</li> <li>維持バンド(帯環)を適合させるよう修得する。</li> </ul>		
4	大島 絵恋 神永 聡	舌側弧線装置の製作 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業用模型作りのため印象採得ができる。</li> <li>作業模型を製作できる。</li> <li>主線と補助弾線の外形線を記入できる。</li> <li>主線の屈曲ができる。</li> </ul>	4
		<ul style="list-style-type: none"> <li>舌側弧線装置の作業用模型作りを理解する。</li> <li>主線と補助弾線の外形線を理解する。</li> <li>矯正用線屈曲の注意点を理解する。</li> </ul>		
5	大島 絵恋 神永 聡	舌側弧線装置の製作 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持バンドと維持管の位置などを考慮し鑑付けができる。</li> <li>維持装置(脚部)の屈曲ができる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>維持バンドと維持装置(STロック維持管)の鑑付けを理解する。</li> <li>維持装置(脚部)の屈曲を理解する。</li> </ul>		
5	大島 絵恋 神永 聡	舌側弧線装置の製作 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>主線と脚部の鑑付けができる。</li> <li>補助弾線の種類と作用方向について説明できる。</li> <li>補助弾線の鑑付けができる。</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>主線と維持装置(脚部)の鑑付けを理解する。</li> <li>補助弾線の種類と作用方向について理解する。</li> <li>補助弾線の鑑付けを理解する。</li> </ul>		
6	大島 絵恋 神永 聡	舌側弧線装置の製作 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助弾線の種類、作用方向を理解し、屈曲することができる。</li> <li>仕上げ研磨を修得し、完成できる。</li> </ul>	4
		<ul style="list-style-type: none"> <li>補助弾線の屈曲について理解する。</li> <li>研磨を修得する。</li> </ul>		
7	大島 絵恋 神永 聡	ホーレーの保定装置の製作 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホーレーの保定装置の目的について述べる。</li> <li>ホーレーの保定装置の構成について述べる。</li> <li>ホーレーの保定装置の製作順序(注意点を含む)を説明できる。</li> <li>維持装置の種類と特徴、製法を説明できる。</li> <li>外形線記入とリリースができる。(接歯唇側線、単純鉤、ボールクラスプ、床外形)</li> </ul>	6
		<ul style="list-style-type: none"> <li>静的矯正装置の意義と目的について理解する。</li> <li>ホーレーの保定装置の構成、製作順序(注意点を含む)を理解する。</li> <li>ホーレーの保定装置製作のための模型準備を理解する。</li> <li>維持装置の種類と特徴、製法を理解する。</li> <li>外形線とリリースを理解する。</li> </ul>		
8	大島 絵恋 神永 聡	ホーレーの保定装置の製作 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>接歯唇側線を屈曲できる。</li> <li>ボールクラスプを製作することができる。</li> </ul>	4
		<ul style="list-style-type: none"> <li>接歯唇側線の屈曲を理解する。</li> <li>ボールクラスプの作製を理解する。</li> </ul>		

9	大島 絵恋 神永 聡	ホーレーの保定装置の製作 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単純鉤の屈曲ができる。</li> <li>・ボールクラスプを屈曲できる。</li> </ul>	4
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・単純鉤の屈曲を理解する。</li> <li>・ボールクラスプ屈曲を理解する。</li> </ul>		
10	大島 絵恋	ホーレーの保定装置の製作 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・矯正用レジン築盛方法を説明できる。</li> <li>・床の外形線に合わせてレジン築盛ができる。</li> <li>・仕上げ研磨を修得し、完成できる。</li> </ul>	3
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・矯正用即時重合レジン築盛を理解する。</li> <li>・研磨を修得する。</li> </ul>		

教科書・参考書		
著書・编者	書名	出版社
全国歯科技工士教育協議会	第2版 最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学	医歯薬出版
評価方法		
製作物の評価		

授業の概要

歯科技工の内容については日進月歩、急速な勢いで進化し、歯科臨床の中に取り込まれている。すなわち、デジタル化に伴うCAD/CAMテクノロジー、超高齢化社会を迎えて訪問診療の増加推進、欠損修復法としてインプラント治療、新しい病状として睡眠時無呼吸症候群の治療、さらには歯科技工の技術・材料をもって生体補綴装置の製作など新たな分野へと展開している。本実習を介してより実践的な技術の習得はもちろんのこと、臨床・臨地実習への心構えや態度を学ぶ実習である。

なお本実習は適時実施するものとする。

株式会社Native Design等で5年間、歯科技工士として勤務し各種補綴装置の製作に従事してきた教員(神永)とエムズプロ等で19年間、歯科技工士として勤務・経営をし各種補綴装置の製作に従事してきた教員(後藤)とホテツセンターラボラトリーに2年間、歯科技工士として勤務し義歯製作に従事してきた教員(八巻)が歯科技工実習における知識・技術・態度を学ぶ実習を行う。

学習目標 (GIO)

応用的な技術を習得し、臨床・臨地実習での心構えや態度を学ぶことを目的とする。

第2講義室

授業科目の区分	専門分野		単位数	10
授業科目	歯科技工実習		授業	月～金曜
講義室名	2学年実習室	対象学年	2学年	
科目担当責任者	神永 聡	所属	東北歯科技工専門学校 教務主任	
授業担当責任者	神永 聡		東北歯科技工専門学校 教務主任	
1・2	職員室		授業方法	実習

担当者	内容/学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	時間数
神永 聡	歯科技工実習を始めるにあたって	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科技工作業における基本姿勢と技工機の使い方について説明できる。</li> <li>指使いの原則と材料・器具の配置を説明できる。</li> <li>技工作業にふさわしい服装・指先で作業することができる。</li> <li>補綴装置が装着されるまでの工程を理解し、それぞれの場面で歯科医師・衛生士・患者への対応ができる。</li> </ul>	8
	技工機や基本姿勢・手指の使い方を改めて理解する。 歯科医師・衛生士・患者への対応を理解する。		
神永 聡	機器・材料の扱い方 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>陶材用筆の扱い方の説明ができる。</li> <li>ブライヤーの種類・扱い方を説明できる。</li> <li>彫刻刀の素性や種類・扱い方について説明できる。</li> </ul>	4
	技工作業で使用する機器・材料の扱い方を理解する。		
神永 聡	機器・材料の扱い方 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイクロモーターの構成について説明できる</li> <li>ハンドピースの持ち方について説明できる。</li> <li>マイクロモーターのアフターケアとメインテナンスについて説明できる。</li> </ul>	4
	技工作業で使用する機器・材料の扱い方を理解する。		
神永 聡	機器・材料の扱い方 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>切削用器具の種類・使用方法について説明できる。</li> <li>研削用器具について説明できる。</li> <li>研磨器具について種類・用途について説明できる。</li> </ul>	4
	技工作業で使用する機器・材料の扱い方を理解する。		
神永 聡	機器・材料の扱い方 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠心鑄造機の扱い方について説明できる。</li> <li>ブローパイプを安全に使用することができる</li> </ul>	4
	技工作業で使用する機器・材料の扱い方を理解する。		
神永 聡	機器・材料の扱い方 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイクロスコープの取り扱い・使用方法について説明できる。</li> <li>光重合器の取扱い・メンテナンスについて説明できる。</li> </ul>	4
	技工作業で使用する機器・材料の扱い方を理解する。		
神永 聡	機器・材料の扱い方 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>印象の扱い方について説明できる。</li> <li>模型の扱い方について説明できる。</li> </ul>	4
	技工作業で使用する機器・材料の扱い方を理解する。		
後藤 真宏	歯科技工指示書の見方	<ul style="list-style-type: none"> <li>記載事項について説明できる。</li> <li>歯科技工録の記載方法について説明できる。</li> <li>トレーサビリティについて説明できる。</li> </ul>	4
	歯科技工指示書の見方を理解する。		

後藤 真宏	模型から得られる情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯冠修復物を製作できる模型から得られる情報を列挙・認識できる。</li> <li>・全部床義歯を製作する模型から得られる情報を列挙・認識できる。</li> <li>・部分床義歯を製作する模型から得られる情報を列挙・認識できる。</li> </ul>	10
	模型から得られる情報を理解する。		
後藤 真宏	エックス線写真から得られる情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯・歯周組織の状態を理解できる。</li> <li>・顎顔面の状態を理解できる。</li> <li>・顎関節の状態を理解できる。</li> </ul>	4
	エックス線写真から得られる情報を理解する。		
後藤 真宏	保険診療における用語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保険診療における用語・略語を説明できる。</li> <li>・修理・調整における注意事項を列挙できる。</li> </ul>	4
	保険診療における用語を理解する		
八巻 賢一	訪問診療について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者における歯科疾患について説明できる。</li> <li>・他職種連携による在宅医療の推進について理解する。</li> <li>・歯科技工士の役割について理解する。</li> </ul>	4
	訪問診療における歯科技工士の役割について理解する。		
神永 聡	CAD/CAM実習 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用可能な材料について説明できる。</li> <li>・構成要素について説明できる。</li> <li>・CAD/CAMシステムの分類について説明できる。</li> <li>・CAD/CAMシステムのメリットについて説明できる。</li> <li>・口腔内カメラについて説明できる。</li> </ul>	10
	CAD/CAMについて理解する。		
神永 聡	CAD/CAM実習 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型をスキャニングする工程を説明できる。</li> <li>・模型をスキャニングできる。</li> <li>・製作に必要なデータの入力ができる。</li> </ul>	10
	模型のスキャニングができる。患者のデータをCADに入力できる。		
神永 聡	CAD/CAM実習 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータに登録されている歯冠・歯列のライブラリーから適切な形態を選択できる。</li> <li>・NCデータを加工機に送り、切削加工の設定ができる。</li> </ul>	10
	補綴物の設計ができる。CAMにデータの送信ができる。		
神永 聡	CAD/CAM実習 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジン冠の研磨の手順を説明できる。</li> <li>・研磨に必要な器材・材料を準備できる。</li> <li>・ステインについて説明できる。</li> <li>・寒色・暖色の役割を説明できる。</li> <li>・ステイニングができる。</li> </ul>	30
	レジン冠の研磨・ステイニングができる		
後藤 真宏	ポーセレン実習 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な歯型可撤式模型を製作できる。</li> <li>・メタルフレームの具備形態を説明できる。</li> <li>・メタルフレームの調整ができる。</li> <li>・ディギャッシングの目的を説明できる。</li> <li>・デギャッシングができる。</li> </ul>	20
	金属焼付陶材冠のメタルフレームが製作できる。		
後藤 真宏	ポーセレン実習 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各陶材の種類・特性を説明できる。</li> <li>・適切な陶材の選択ができる。</li> <li>・筆を使用した築盛ができる。</li> </ul>	8
	陶材の種類・築盛方法を理解する。		
後藤 真宏	ポーセレン実習 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審美性を考慮した形態修正ができる。</li> <li>・表面性状を付与することができる。</li> <li>・艶出し焼成について説明できる。</li> <li>・陶材焼付前装冠の仕上げ研磨ができる。</li> </ul>	20
	陶材焼付前装冠の形態修正・艶出し焼成ができる		
後藤 真宏	臨床的インレー実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型から得られる情報を認識し、作業用模型製作ができる。</li> <li>・残存歯列と適合するインレーが製作できる。</li> </ul>	40
	臨床的模型を使用したインレーが製作できる		
後藤 真宏	臨床的クラウン実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型から得られる情報を認識し、作業用模型製作ができる。</li> <li>・残存歯列と適合するフルメタルクラウンが製作できる。</li> </ul>	40
	臨床的模型を使用したフルメタルクラウンが製作できる。		
後藤 真宏	臨床的メタルコア実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模型から得られる情報を認識し、作業用模型製作ができる。</li> <li>・残存歯列と適合するメタルコアが製作できる。</li> </ul>	40
	臨床模型を使用したメタルコアの製作ができる		
八巻 賢一	臨床見学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床見学における身だしなみについて実践できる。</li> <li>・臨床見学の態度について実践できる。</li> <li>・臨床実習の必要性について理解する。</li> </ul>	8
	歯科技工所における臨床見学ができる。		

後藤 真宏	感染対策 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策の概念について理解する。</li> <li>・印象体・模型の消毒の目的・必要性について説明できる。</li> <li>・消毒のやり方について説明できる。</li> </ul>	4
	感染対策について理解する。		
後藤 真宏	感染対策 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成した補綴装置の消毒・滅菌について理解する。</li> <li>・歯科技工所における粉塵対策について説明できる。</li> </ul>	4
	歯科技工所の感染対策について理解する		
後藤 真宏	歯周治療における歯科技工士 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周治療について理解する。</li> <li>・歯周治療後の特徴について説明できる。</li> <li>・歯冠一歯根比について説明できる。</li> <li>・鼓形空隙の変化について説明できる。</li> </ul>	8
	歯周治療について理解する。		
後藤 真宏	歯周治療における歯科技工士 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分割支台歯築造について理解する。</li> <li>・前歯単独冠の歯冠形態について理解する。</li> <li>・シリコーンガム模型について理解する。</li> </ul>	8
	歯周治療後に装着する支台歯築造について理解する		
後藤 真宏	歯周治療における歯科技工士 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臼歯単独冠の歯冠形態について理解する。</li> <li>・パレリングについて理解する。</li> <li>・ヘミセクション・トライセクションについて説明できる。</li> </ul>	8
	歯周治療後に装着する支台歯築造について理解する		
後藤 真宏	顎口腔機能治療における歯科技工 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FGPテクニックについて理解する。</li> <li>・FGPテクニックの術式について理解する。</li> <li>・機能的運動路の記録について説明できる。</li> </ul>	10
	顎口腔治療について理解する。		
後藤 真宏	顎口腔機能治療における歯科技工 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠時無呼吸症候群について説明できる。</li> <li>・口腔内装置の種類を列挙できる。</li> <li>・ソフトタイプ・ハードタイプの違いや利点欠点を説明できる。</li> </ul>	10
	睡眠時無呼吸症候群について理解する。		
八巻 賢一	全部床義歯技工学 応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・即時義歯の特徴を説明できる。</li> <li>・即時義歯の製作方法を説明できる。</li> <li>・臨床模型における解剖学的ランドマークを識別できる。</li> </ul>	30
	即時義歯の製作方法を理解できる。 口腔内のランドマークを認識できる。		
八巻 賢一	部分床義歯技工学 応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サベイヤーを用いたクラウン製作の工程を説明できる。</li> <li>・コンビネーションクラスプの製作で鑲着法と鑄接法の違いを説明できる。</li> </ul>	30
	支台歯となるクラウンの製作法について理解する。 コンビネーションクラスプの意義と製作法について理解する。		
神永 聡	歯牙解剖実習 応用 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支台歯形成ができる。</li> <li>・咬合を考えたワックス彫刻ができる。</li> </ul>	24
	噛み合わせを考慮した上下顎の彫刻ができる		
神永 聡	歯牙解剖実習 応用 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天然歯の形態を観察し彫刻することができる</li> <li>・錯視について説明できる。</li> </ul>	20
	天然歯を模刻することができる		

教科書・参考書		
著書・編者	書名	出版社
東北歯科技工専門学校	実習指針書	

評価方法
製作物およびレポートにて評価



令和六年度 第二学年 教育課程(実施表)

学 週 期 次	分 野  科 目	基礎分野		専門基礎分野						専門分野						試 験  ・ 行 事	1 週 間 の 時 間 数		
		コ ミ ュ ニ ケー ション 学	歯 科 技 工 概 論	歯 の 解 剖 学  歯 型 彫 刻	顎 口 腔 機 能 学				有床義歯技工学		歯 冠 修 復 技 工 学		矯 正 歯 科 技 工 学		歯 科 技 工 実 習				
					講 義	講 義	実 習	講 義	講 義	実 習	実 習	講 義	実 習	講 義				実 習	
																			専 任
授 業 形 態	講 義	講 義	実 習	講 義	講 義	実 習	実 習	講 義	実 習	講 義	実 習	講 義	実 習	実 習					
月 日	担 当	専 任	非 常 勤 専 任	神 永	天 雲	八 巻	重 光	小 松	小 松	小 松	小 松	小 松	小 松	後 藤	後 藤	茂 見	専 任	専 任	
1	4/8~4/12																	2	4
2	4/15~4/19				2								4	22				6	34
3	4/22~4/26	4			2								2	20				8	36
4	4/29~5/3																		0
5	5/6~5/10				2								4	20	2			8	36
6	5/13~5/19				2					2			4	20	2			10	40
7	5/20~5/24				2					4	16				2			6	30
8	5/27~5/31	8			2					2	16				2			6	36
9	6/3~6/7				2					4	20				2			8	36
10	6/10~6/14				2					4	16				2	4		8	36
11	6/17~6/23				2					2	20				2	4		10	40
12	6/24~6/28	8			2								2	10	2	4		4	32
13	7/1~7/5				2								4	16	2	4		8	34
14	7/8~7/12														2	6		26	34
15	7/15~7/21													8				14	36
16	7/22~7/26	2											2	10	2	6		22	22
17	7/29~8/23																		
18	8/26~9/30									4	12				2	6		6	38
19	9/2~9/8									4	18				2	4		10	38
20	9/9~9/13									4	12				2	4		6	28
21	9/16~9/20									4	4		2	10	2	4		6	32
22	9/23~9/27	8											4	12				6	30
1	9/30~10/4												2	22				10	36
2	10/7~10/11																	40	40
3	10/14~10/18			10											10			8	28
4	10/21~10/25				26													10	36
5	10/28~11/1			10														26	36
6	11/4~11/8																	14	22
7	11/11~11/15						8	10										16	34
8	11/18~11/22						8	12										16	36
9	11/25~11/29							8										16	32
10	12/2~12/6																	32	32
11	12/9~12/13																	18	32
12	12/16~12/20																	30	30
13	12/16~12/21																	12	12
14	12/25~1/10																		0
15	1/13~1/17		6			2												8	16
16	1/20~1/24		6			2												6	14
17	1/27~1/31		6			2												6	14
18	2/3~2/7		6			2												6	18
19	2/10~2/14		6			2												6	14
20	2/17~2/21																	6	6
21	2/24~2/28																	6	10
22	3/3~3/7																		0
23	3/10~3/14																		0
24	3/17~3/19																		0
各科目総時間数小計		30	30	46	20	10	16	30	16	90	16	46	30	180	30	46	450	64	1086
各科目総時間数合計		30	30	46	30		46	16	90	16	46	30	180	30	46	450			1086
取得単位数		1	1	1	1		1	0.5	2	0.5	1	1	4	1	1	10			26

令和七年度 第二学年 教育課程(カリキュラム)

学 週 期 次	分野  科 目  授業形態  担当  月日	基礎分野		専門基礎分野						専門分野						試 験 ・ 行 事	1 週 間 の 時 間 数				
		コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 学	歯 科 技 工 概 論	歯 の 解 剖 学  歯 型 彫 刻	顎 口 腔 機 能 学						有床義歯技工学		歯 冠 修 復 技 工 学		矯 正 歯 科 技 工 学			歯 科 技 工 実 習			
					講 義	講 義	実 習	講 義	講 義	実 習	実 習	講 義	実 習	講 義	実 習				講 義	実 習	実 習
前	1	4/14~4/18	2		2								4	26			2	36			
	2	4/21~4/25	4		2								4	14			14	38			
	3	4/28~5/2			2								4	16				22			
	4	5/5~5/9			2								4	12				18			
	5	5/12~5/16			2					4	6			6	2		2	22			
	6	5/19~5/23			2					4	16				2		12	36			
	7	5/26~5/30	8							4	22				2		2	40			
	8	6/2~6/6			2						20				2		12	36			
	9	6/9~6/13			2						20				2		12	36			
	10	6/16~6/20			2					4	6			4	12	2	6	36			
	11	6/23~6/27	8											4	16	2	4	6	38		
	12	6/30~7/4			2									4	16	2	4	6	34		
	13	7/7~7/11													2	6	2	24	32		
	14	7/14~7/18													2	4	4	12	30		
	15	7/21~7/25										2	12			2	4	4	24		
	16	7/28~8/22																			
	17	8/25~8/30										4	8			2	4	16	42		
	18	9/1~9/5										6	10			2	4	4	26		
	19	9/8~9/12										4	16			2	4	10	36		
	20	9/15~9/19												4	14	2	6		26		
	21	9/22~9/26	8											2	14				24		
後	1	9/29~10/3													20		10	2	32		
	2	10/5~10/10															36	12	48		
	3	10/13~10/17		10												14		2	26		
	4	10/20~10/24		26													10		36		
	5	10/27~10/31		10													26		36		
	6	11/3~11/7															18	8	26		
	7	11/10~11/14					8	10									18		36		
	8	11/17~11/21					8	12									16		36		
	9	11/24~11/28						8									26		34		
	10	12/1~12/5															18	14	32		
	11	12/8~12/12															30		30		
	12	12/15~12/19															30		30		
	13	12/22~12/26															10		10		
	14	12/24~1/9																	0		
	15	1/12~1/16		6			2											8	16		
	16	1/19~1/23		6			2										12		20		
	17	1/26~1/30		6			2										12		20		
	18	2/2~2/6		6			2										8	4	20		
	19	2/9~2/13		6			2										8		16		
	20	2/16~2/20															16		16		
	21	2/23~2/27															6	8	14		
	22	3/3~3/7																	0		
	23	3/10~3/14																	0		
	24	3/11~3/15																	0		
各科目総時間数小計			30	30	46	20	10	16	30	16	90	16	46	30	180	30	46	450	80	1086	
各科目総時間数合計			30	30	46	30		46	16	90	16	46	30	180	30	46	450			1086	
取得単位数			1	1	1	1	1	0.5	2	0.5	1	1	4	1	1	1	10			26	

令和7年度 前期 4月14日～5月30日 時間割

週次：前期21週・後期22週

授業：45分=1時間

単位：講義1単位=30時間

実習1単位=45時間

第2学年 4月

第2学年 5月

日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30	
14	月	クラスミーティング		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック				
15	火	彫刻	歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯科理工学 (神永) 54			
16	水	彫刻	歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック			
17	木	彫刻	歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック 10			
18	金	顎口腔機能学 (天壽) 1		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック				
21	月	彫刻	歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック					
22	火	彫刻	歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯科理工学 (神永) 55			
23	水	彫刻	歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック			
24	木	彫刻	歯冠修復技工学 臼歯コア・テック 20		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック			
25	金	顎口腔機能学 (天壽) 2		歯冠修復技工学 臼歯コア・テック23※		行事				
28	月	休校								
29	火	昭和の日								
30	水	彫刻	歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル			
1	木	彫刻	歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル			
2	金	顎口腔機能学 (天壽) 3		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル				

日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30	
5	月	こどもの日								
6	火	振替休日								
7	水	彫刻	歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル 10		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル			
8	木	彫刻	歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル			
9	金	顎口腔機能学 (天壽) 4		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル				
12	月	彫刻	歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル					
13	火	彫刻	歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル 20		歯科理工学 (神永) 56			
14	水	彫刻	歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル		歯冠修復技工学 クラウンブリッジ スタディモデル 23※			
15	木	彫刻	全部床義歯 技工学 個人トレ ー・ロウ堤	矯正歯科技工学 (大島) 1		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		
16	金	顎口腔機能学 (天壽) 5		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト				
19	月	彫刻	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト					
20	火	彫刻	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		歯科理工学 (神永) 57			
21	水	彫刻	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト 10		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト			
22	木	彫刻	全部床義歯 技工学 個人トレ ー・ロウ堤	矯正歯科技工学 (大島) 2		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		
23	金	顎口腔機能学 (天壽) 6		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト				
26	月	彫刻	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		模擬試験			
27	火	彫刻	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト 20		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		歯科理工学 (神永) 58			
28	水	彫刻	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト			
29	木	彫刻	全部床義歯 技工学 個人トレ ー・ロウ堤	矯正歯科技工学 (大島) 3		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		
30	金	パークゴルフ大会								

令和7年度 前期 6月2日～7月25日 時間割

第2学年 6月

日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
2	月	彫刻		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト			
3	火	彫刻		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト 30		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト	歯科理工学 (神永) 59		
4	水	彫刻		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		
5	木	彫刻	全部床義歯 技工学 個人トレー ・ロウ堤	矯正歯科技工学 (大島) 4		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		
6	金		顎口腔機能学 (天雲) 7	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト			
9	月	彫刻		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト 40		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト			
10	火	彫刻		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト	歯科理工学 (神永) 60 *		
11	水	彫刻		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		
12	木	彫刻	全部床義歯 技工学 個人トレー ・ロウ堤	矯正歯科技工学 (大島) 5		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		
13	金		顎口腔機能学 (天雲) 8	全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト 50		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト			
16	月	彫刻		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト		全部床義歯技工学 個人トレー・ロウ堤 スプリットキャスト 53※			
17	火	彫刻		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠	歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		
18	水	彫刻		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠	歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		
19	木		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 (大島) 6		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 実習		
20	金		顎口腔機能学 (天雲) 9	歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠			
23	月	彫刻		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠 10	模擬試験		
24	火	彫刻		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠	歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		
25	水	彫刻		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠	歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		
26	木		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 (大島) 7		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 実習		
27	金	スポーツ大会							

第2学年 7月

日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
30	月	彫刻		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠			
1	火	彫刻		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠 20	歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠
2	水	彫刻		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠	歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠
3	木		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 (大島) 8		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 実習
4	金		顎口腔機能学 (天雲) 10a	歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠		歯冠修復技工学 硬質レジン前装冠 26※			
7	月	彫刻		歯科技工実習 (試験模型製作)		歯科技工実習 (試験模型製作)			
8	火	彫刻		歯科技工実習 (試験模型製作)		歯科技工実習 (試験模型製作)			
9	水	彫刻		歯科技工実習 (試験模型製作)		歯科技工実習 (試験模型製作)			
10	木		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 (大島) 9		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 実習
11	金	彫刻		歯科技工実習 (試験模型製作)		歯科技工実習 (試験模型製作)			
14	月	彫刻		歯科技工実習 (試験模型製作)		歯科技工実習 (試験模型製作)			
15	火	彫刻		歯科技工実習 (試験模型製作)		歯科技工実習 (試験模型製作)			
16	水	前期試験筆記				前期試験筆記			
17	木		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 (大島) 10		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 実習
18	金	前期試験実技				前期試験実技			
21	月	海の日							
22	火	彫刻		部分床義歯技工学		部分床義歯技工学			
23	水	彫刻		部分床義歯技工学		部分床義歯技工学			部分床義歯技工学
24	木		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 (大島) 11		矯正歯科技工学 実習	矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 実習
25	金	彫刻		クラスミーティング					

令和7年度 前期 8月25日～9月26日 時間割

第2学年 8月

日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
25	月	彫刻	部分床義歯技工学		部分床義歯技工学				
26	火	彫刻	部分床義歯技工学		部分床義歯技工学				
27	水	彫刻	部分床義歯技工学 10		部分床義歯技工学		部分床義歯技工学		
28	木	矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 (大島) 12		矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 実習	
29	金	全国模試							
30	土	東北デンタルショー							

第2学年 9月

日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
1	月	振替休日							
2	火	彫刻	部分床義歯技工学		部分床義歯技工学				
3	水	彫刻	部分床義歯技工学		部分床義歯技工学		部分床義歯技工学		
4	木	矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 (大島) 13		矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 実習	
5	金	彫刻	部分床義歯技工学		部分床義歯技工学				
8	月	彫刻	部分床義歯技工学 20		部分床義歯技工学				
9	火	彫刻	部分床義歯技工学		部分床義歯技工学		部分床義歯技工学		
10	水	彫刻	部分床義歯技工学		部分床義歯技工学		部分床義歯技工学		
11	木	矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 (大島) 14		矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 実習	
12	金	彫刻	部分床義歯技工学		部分床義歯技工学		部分床義歯技工学 30		
15	月	敬老の日							
16	火	彫刻	歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ		
17	水	彫刻	歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ		
18	木	矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 (大島) 15a		矯正歯科技工学 実習		矯正歯科技工学 実習	
19	金	彫刻	歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ				
22	月	休 校							
23	火	秋分の日							
24	水	彫刻	歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ 10		歯冠修復技工学 ブリッジ		
25	木	彫刻	歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ		
26	金	学業会							

令和7年度 後期 9月29日～11月28日 時間割

第2学年 10月

日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
29	月	彫刻		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ			
30	火	彫刻		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ	
1	水	彫刻		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ 20		歯冠修復技工学 ブリッジ	
2	木	彫刻		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ	
3	金	彫刻		歯冠修復技工学 ブリッジ		校内模擬試験			
5	日	海外研修							
6	月	海外研修							
7	火	海外研修							
8	水	海外研修							
9	木	海外研修							
10	金	海外研修							
13	月	スポーツの日							
14	火	彫刻		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ	
15	水	彫刻		歯冠修復技工学 ブリッジ		歯冠修復技工学 ブリッジ 30			
16	木	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習			
17	金	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習			
20	月	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習			
21	火	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習		歯科技工実習	
22	水	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習		歯科技工実習	
23	木	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習		歯科技工実習	
24	金	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習			
27	月	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習			
28	火	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習		歯科技工実習	
29	水	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習		歯科技工実習	
30	木	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習		歯科技工実習	
31	金	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習			

第2学年 11月

日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
3	月	文化の日							
4	火	全国模擬試験				全国模擬試験			
5	水	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習			
6	木	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習			
7	金	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習			
10	月	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習			
11	火	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習	
12	水	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習	
13	木	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習	
14	金	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習			
17	月	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習			
18	火	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習	
19	水	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習	
20	木	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習			
21	金	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習	
24	月	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習			
25	火	歯科技工実習 (後期試験練習)				歯科技工実習 (後期実技練習)			
26	水	小テスト		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習		歯科技工実習 (試験模型製作) 顎口腔機能学実習 Z3			
27	木	小テスト		歯科技工実習		歯科技工実習			
28	金	歯科技工実習 (後期試験練習)				歯科技工実習 (後期実技練習)			

令和7年度 後期 12月1日～1月30日 時間割

第2学年 12月

日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
1	月	小テスト	歯科技工実習			歯科技工実習			
2	火	小テスト	歯科技工実習			歯科技工実習			
3	水	後期試験筆記				後期試験筆記			
4	木	後期試験実技				後期試験実技			
5	金	小テスト	歯科技工実習			歯科技工実習			
8	月	小テスト	歯科技工実習			歯科技工実習			
9	火	小テスト	歯科技工実習			歯科技工実習			
10	水	小テスト	歯科技工実習			歯科技工実習			
11	木	小テスト	歯科技工実習			歯科技工実習			
12	金	小テスト	歯科技工実習			歯科技工実習			
15	月	小テスト	歯科技工実習			歯科技工実習			
16	火	小テスト	歯科技工実習			歯科技工実習			
17	水	小テスト	歯科技工実習 CAD/CAM			歯科技工実習 CAD/CAM			
18	木	小テスト	歯科技工実習 CAD/CAM			歯科技工実習 CAD/CAM			
19	金	小テスト	歯科技工実習 CAD/CAM			歯科技工実習 CAD/CAM			
22	月	小テスト	歯科技工実習 CAD/CAM			歯科技工実習 CAD/CAM			
23	火	小テスト	CM						
24	水								
25	木								
26	金								

第2学年 1月

日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30
12	月	成人の日							
13	火	全国模擬試験				全国模擬試験			
14	水	国家試験対策							
15	木	国家試験対策							
16	金	国家試験対策							
19	月	国家試験対策							
20	火	国家試験対策							
21	水	国家試験対策							
22	木	国家試験対策							
23	金	国家試験対策							
26	月	国家試験対策							
27	火	国家試験対策							
28	水	国家試験対策							
29	木	国家試験対策							
30	金	国家試験対策							

第2学年

日付	曜日	① 9:10	②～ 10:40	③ 10:50	④～ 12:20	⑤ 13:20	⑥～ 14:50	⑦ 15:00	⑧～ 16:30	
2	月	国家試験対策				校内模擬試験	校内模擬試験			
3	火	国家試験対策								
4	水	国家試験対策								
5	木	国家試験対策								
6	金	国家試験対策								
9	月	国家試験対策								
10	火	国家試験対策								
11	水	建国記念日								
12	木	国家試験対策								
13	金	国家試験対策								
16	月	国試休み								
17	火	歯科技工実習								
18	水	歯科技工実習								
19	木	歯科技工実習								
20	金	歯科技工実習								
23	月	天皇誕生日								
24	火	歯科技工実習								
25	水	歯科技工実習								
26	木	歯科技工実習								
27	金	卒業式								